

# 年 報 22

2005年度  
(平成17年度)

2006. 10

山梨県埋蔵文化財センター

# 年 報 22

2005年度  
(平成17年度)

2006. 10

山梨県埋蔵文化財センター

## 序

本書は、2005年度に当センターで実施しました発掘調査及び試掘調査などの概要と、遺跡調査発表会等の普及事業内容を報告するものです。

記録保存のための調査では、11箇所の遺跡調査を実施しました。この中で、中央市の「小井川遺跡」では、釜無川の氾濫原地帯でありながら、14~16世紀の様々な建物跡や石造物が発見されました。特に、銘文が刻まれている五輪塔、9間×6間の礎石建物跡とその関連構造は、この地域と時代を知る上で新発見であり、重要な資料として注目されています。鰐沢河岸跡の発掘では、「鰐沢河岸跡B」と称して2000年度から継続している調査地域の最南端に位置する口留番所跡の調査と、河岸跡最北端の横町地区（鰐沢河岸跡C）の調査を実施しました。江戸幕府が設置した、人や物資の出入りを監視する小規模な関所である口留番所の跡地では、その石垣や礎石建物などが検出され、その所在が確認できたことは大きな成果となりました。また、横町地区では、松本藩御米蔵跡が推定されていましたが、今回の調査では確認できませんでした。

盆地中央部から発見された「平山宮第2遺跡」においては、県内において類例が少ない平安時代中頃の井戸が発見されています。井戸は、方形を呈し木枠の下部に曲物があり、遺存状況が良好なため今後の研究に貴重な資料になると思われます。また、都留市の「大正寺遺跡」で弥生時代に属する約2000年前の住居跡が山中から発見され、水田開拓以前の山の暮らしの一端をうかがうことができました。同じ都留市の「玉川金山遺跡」では、中世・奈良・平安時代の遺構面が確認され、更に地表下2.0~2.5mの面では绳文時代早期の遺物も出土しました。

山梨市の「足原田遺跡Ⅱ」では、平安時代後期の住居跡が23軒見つかり、その一部から凸帯付四耳壺、墨書き土器などが出土し、峠東地域の拠点集落の一つの可能性が推測されています。富士河口湖町の「浅沢遺跡」では、平安時代当時の官道近くに広がっていた集落の一部と考えられる堅穴住居跡などが発見されました。同じ富士河口湖町の「泡橋遺跡」では、遺構は確認できなかったものの、弥生時代後期の土器などが出土し、河山湖方面において資料が乏しい中、貴重な発見となりました。

都留市の「四ノ側遺跡」においては、古代県東部地域のより詳細な研究材料となる住居跡2軒などが検出されました。また、「甲府城下町遺跡」では、井戸、堀柵、陶磁器等が発見され、広大な甲府城下町の一端を探る上で重要な歴史資料として期待されています。

整備事業に伴う調査では、2件実施されました。「県指定史跡鏡子塚古墳附丸山塚古墳」では、後円部周辺を整備しました。埴丘では、埴丘縁ラインを復元し、盛土の表面には床土を入れ、芝生を貼りました。また、周溝は碎石を敷き詰めた上に、正砂利を敷き、保水性を高める設計にしました。「突出部」は、東日本で初めて発見されたもので、周溝の上面に大標を配置して表現しました。史跡境界部へは、サザンカなどの生垣を植栽しました。「県指定史跡甲府城跡開連事業」では、舞鶴城公園整備事業として平成2年度から、施設等の整備や橋脚等の復元に連動した発掘調査・石垣改修工事を実施しています。2005年度は、城内で現存する最も古い石垣の一つである天守台石垣の東面を対象に修繕工事を実施し、詰石や裏栗石の補充を中心に石垣の補強を行いました。

中世に在した寺院の調査を行い、その基礎データの集積を行う「山梨県内中世寺院分布調査」は、5ヵ年計画の2年目に当たります。2005年度は、笛吹市の中興寺、聖心寺、甲府市の円楽寺の調査を実施しました。特に円楽寺六角堂・行者堂跡の調査では、石塔面に「天文十六年」(1547)などの年号が確認され、六角堂の成立や展開を知る貴重な資料として考えられています。

資料普及事業では、今年度も県内小中学校への「出前支援事業」や中学生対象に整理作業などを体験してもらう「職場体験」、各種の研修会の場所で埋蔵文化財調査の成果を報告する「講師派遣」、実際に調査が行われている遺跡での発掘を体験する「遺跡体験発掘セミナー」等に取り組んだほか、「埋蔵文化財学習活用事業」の一環として普及活動に必要なビデオ、解説カード、パンフレットを作成して、工夫をこらした活動を目指して来ました。

当センターでは、今まで以上に埋蔵文化財の調査研究、保存と保護に努力し、その貴重な資料を幅広く活用していただきたく、学校教育や社会教育への普及活動に励んで行きたいと考えていますので、今後ともなお一層ご理解とご支援をお願い申し上げます。

2006年 10月

山梨県埋蔵文化財センター  
所長末木 健

# 目 次

## 序文

### 例言・凡例

## 第Ⅰ章 2005年度の事業概要

|    |                     |    |
|----|---------------------|----|
| 1  | 発掘調査等               | 1  |
| 2  | 整理作業                | 1  |
| 3  | 資料普及事業              | 2  |
| 4  | 収蔵資料の貸し出し及び掲載許可一覧   | 4  |
| 5  | 第18回市町村埋蔵文化財専門職員研修会 | 7  |
| 6  | 遺跡調査発表会             | 7  |
| 7  | 山梨の遺跡展2006          | 8  |
| 8  | 埋文やまなし              | 8  |
| 9  | 県指定史跡甲府城跡活用事業       | 9  |
| 10 | 遺跡データ管理             | 11 |
| 11 | 所内研修                | 11 |
| 12 | 発掘・整理作業標準化          | 11 |
| 13 | 寄贈・購入図書             | 11 |

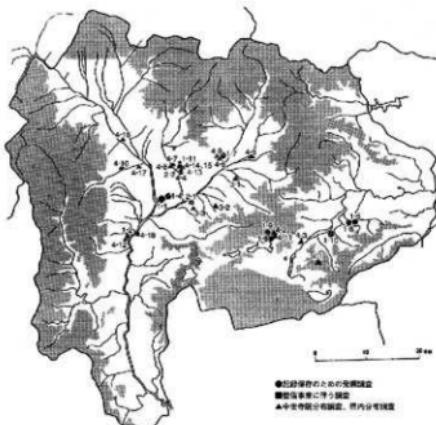
## 第Ⅱ章 各遺跡の発掘調査等概要

|      |                  |    |
|------|------------------|----|
| 1    | 記録保存のための発掘調査     |    |
| 1-1  | 小井川遺跡            | 12 |
| 1-2  | 鰐沢河岸跡B（口留番所跡）    | 14 |
| 1-3  | 鰐沢河岸跡C（横町地区）     | 16 |
| 1-4  | 平田宮第2遺跡          | 18 |
| 1-5  | 天正寺遺跡            | 20 |
| 1-6  | 玉川金山遺跡           | 22 |
| 1-7  | 足原田遺跡II          | 24 |
| 1-8  | 浅沢遺跡             | 26 |
| 1-9  | 疱橋遺跡             | 28 |
| 1-10 | 四ノ側遺跡            | 29 |
| 1-11 | 甲府城下町遺跡          | 30 |
| 2    | 整備事業に伴う調査        |    |
| 2-1  | 国指定史跡銚子塚古墳附丸山塚古墳 | 32 |
| 2-2  | 県指定史跡甲府城跡        | 34 |
| 3    | 分布調査             |    |
|      | 山梨県内中世寺院分布調査     | 36 |
| 4    | 県内分布調査           | 38 |

## 第Ⅲ章 県内の概況

|   |                                 |    |
|---|---------------------------------|----|
| 1 | 届出件数と内容                         | 48 |
| 2 | 発掘調査                            | 48 |
| 3 | 県指定有形文化財（考古資料）及び県指定史跡           | 48 |
| 4 | 発掘調査の成果と保存整備事業                  | 48 |
| 5 | 調査体制                            | 49 |
|   | 発掘届出件数・調査件数の推移図・2005年度県内発掘調査一覧表 | 50 |

## 凡 例



2005年度 発掘調査等遺跡位置図

### 2005（平成17）年度 職員組織

|         |       |       |
|---------|-------|-------|
| 所       | 長     | 渡辺 誠  |
| 次       | 長     | 窪田 守忠 |
| 総務課長（兼） | 窪田 守忠 |       |
| 次       | 長     | 末木 健  |
| 調査研究課長  | 坂本 美夫 |       |
| 資料普及課長  | 出月 洋文 |       |

- 本書は、2005年度の山梨県埋蔵文化財センターの事業をまとめたものである。
- 本書の編集は、猪股一弘、山本茂樹が行った。
- 2005年度の収蔵資料の貸出し及び掲載許可一覧、発掘調査一覧表は2006年3月末日現在で集計したものである。
- 第2章各遺跡の発掘調査等概要における発掘調査面積の（ ）内は、調査対象面積である。
- 左記の地図は、2005年度発掘調査等遺跡の位置図である。なお、地図中の番号は、1頁の発掘調査の表に対応している。

| 調査研究課 第1担当 |       |
|------------|-------|
| 副主幹・文化財主事  | 保坂 康夫 |
| 副主査・文化財主事  | 田口 明子 |
| 主任・文化財主事   | 鶴田 博  |
| 非常勤嘱託      | 長田 隆志 |

| 資料普及課 第1担当 |       |
|------------|-------|
| 主査・文化財主事   | 山本 茂樹 |
| 主任・文化財主事   | 宮里 学  |
| 主任・文化財主事   | 小林 孝子 |
| 非常勤嘱託      | 上原 健弥 |

| 調査研究課 第2担当   |        |
|--------------|--------|
| 副主幹・文化財主事    | 小林 広和  |
| 主査・文化財主事     | 猪股 一弘  |
| 主任・文化財主事     | 網倉 邦生  |
| 非常勤嘱託（4月）    | 楠間 美季江 |
| 非常勤嘱託（5月～3月） | 酒井 玄暉  |

| 資料普及課 第2担当   |        |
|--------------|--------|
| 副主査・文化財主事    | 村石 滉澄  |
| 主任・文化財主事     | 笠原 みゆき |
| 主任・文化財主事     | 野代 恵子  |
| 非常勤嘱託        | 芦澤 昌弘  |
| 臨時職員         | 上野 桜   |
| 非常勤嘱託（5月～3月） | 代永 智恵  |

| 調査研究課 第3担当 |       |
|------------|-------|
| 主査・文化財主事   | 吉岡 弘樹 |
| 主任・文化財主事   | 奥石 逸子 |
| 主任・文化財主事   | 依田 幸浩 |
| 非常勤嘱託      | 正木 季洋 |
| 臨時職員（3月）   | 猪股 美紗 |

# 第Ⅰ章 2005年度の事業概要

## 1 発掘調査等

2005年度の発掘調査等は、以下のとおりである。各遺跡の概要是、第Ⅱ章で述べることとする。

### 1) 記録保存のための発掘調査

| 番号   | 遺跡名他         | 番号   | 遺跡名他          |
|------|--------------|------|---------------|
| 1-1  | 小井川遺跡        | 1-2  | 鰐沢河岸跡B(口留番所跡) |
| 1-3  | 鰐沢河岸跡C(横町地区) | 1-4  | 平田宮第2遺跡       |
| 1-5  | 天正寺遺跡        | 1-6  | 玉川金山遺跡        |
| 1-7  | 足原田遺跡II      | 1-8  | 瀧沢遺跡          |
| 1-9  | 泡橋遺跡         | 1-10 | 四ノ側遺跡         |
| 1-11 | 甲府城下町遺跡      |      |               |

### 2) 整備事業に伴う調査

| 番号  | 遺跡名他              | 番号  | 遺跡名他       |
|-----|-------------------|-----|------------|
| 2-1 | 国指定史跡 錦子塚古墳附丸山塚古墳 | 2-2 | 県指定史跡 甲府城跡 |

### 3) 分布調査

| 番号  | 調査名他         |
|-----|--------------|
| 3-1 | 山梨県内中世寺院分布調査 |

### 4) 県内分布調査

| 番号   | 遺跡名他  | 番号   | 遺跡名他                           |
|------|---|------|--------------------------------|
| 4-1  | 防衛施設周辺道路整備事業に伴う試掘調査(筆見原遺跡)                  | 4-2  | 河口2期バイパス建設事業に伴う試掘調査(痴番遺跡)      |
| 4-3  | 西桂警察官駐在所建設事業に伴う試掘調査                         | 4-4  | 宝生相続合父番建設事業に伴う試掘調査             |
| 4-5  | 堀山バイパス建設事業に伴う試掘調査(北田中遺跡)                    | 4-6  | 西関東連絡道路建設事業に伴う試掘調査(武家遺跡)       |
| 4-7  | 県立中央病院事業による道路付替・敷地内整備事業に伴う試掘・立会調査(富士見一丁目遺跡) | 4-8  | 県立大学実習棟建設事業に伴う試掘調査             |
| 4-9  | 西関東連絡道路建設事業に伴う試掘調査(延命寺遺跡)                   | 4-10 | 県立北病院授産施設建設事業に伴う試掘調査           |
| 4-11 | 河口2期バイパス建設事業に伴う試掘調査(谷抜遺跡)                   | 4-12 | 鰐沢河岸跡公園水辺プラザ建設事業に伴う試掘調査(鰐沢河岸跡) |
| 4-13 | 甲府地方裁判所新庁舎建設事業に伴う立会調査(甲府城下町遺跡)              | 4-14 | 県立病院集中化改修電気設備工事に伴う立会調査(甲府城跡)   |
| 4-15 | 国道20号外光ケーブル敷設工事に伴う立会調査(甲府城跡)                | 4-16 | 国道20号親音橋琵琶工事事業に伴う立会調査(西表堤防)    |
| 4-17 | 金無川流域下水道建設事業に伴う立会調査(赤山仲田遺跡)                 | 4-18 | 金無川流域下水道建設事業に伴う立会調査            |

## 2 整理作業

2005年度の整理作業は、以下のとおりである。

### 1) 基礎的整理作業

| 番号 | 遺跡名                     |
|----|-------------------------|
| 1  | 鰐沢河岸跡B(口留番所跡)・C(松木落葉藏跡) |
| 2  | 瀧沢遺跡・泡橋遺跡               |
| 3  | 足原田遺跡II                 |
| 4  | 小井川遺跡                   |
| 5  | 平田宮第2遺跡・玉川金山遺跡・天正寺遺跡    |
| 6  | 四ノ側遺跡                   |
| 7  | 甲府城下町遺跡                 |

### 2) 本格的整理作業

| 番号 | 遺跡名               |
|----|-------------------|
| 1  | 鰐沢河岸跡A            |
| 2  | 足原田遺跡I            |
| 3  | 登録有形文化財 滝沼堰堤      |
| 4  | 百々遺跡6             |
| 5  | 四ノ側遺跡             |
| 6  | 塙越遺跡・炭焼遺跡・井坪遺跡    |
| 7  | 甲府城跡周辺確認調査        |
| 8  | 県指定史跡 甲府城跡        |
| 9  | 国指定史跡 錦子塚古墳附丸山塚古墳 |
| 10 | 山梨県内分布調査          |

### 3) 報告書刊行一覧

| 番号   | 報告書名                        |
|------|-----------------------------|
| 230集 | 足原田遺跡I                      |
| 231集 | 百々遺跡6                       |
| 232集 | 甲府城跡周辺確認調査報告書               |
| 233集 | 県指定史跡 甲府城跡 平成17年度調査・整備報告書   |
| 234集 | 登録有形文化財 滝沼堰堤                |
| 235集 | 鰐沢河岸跡III                    |
| 236集 | 四ノ側遺跡                       |
| 237集 | 塙越遺跡・炭焼遺跡・井坪遺跡              |
| 238集 | 鰐沢河岸跡IV                     |
| 239集 | 国指定史跡 錦子塚古墳附丸山塚古墳 保存修理事業報告書 |
| 240集 | 山梨県内分布調査報告書(平成17年)          |

### 3 資料普及事業

今年度も、県内小中学校への「出前支援事業」、中学校の生徒を発掘作業や整理作業の現場に受け入れる「職場体験」、各種の研修会の場所で埋蔵文化財調査の成果を報告する「講師派遣」などについて取り組んだほか、16年度からセンターが行う普及事業の一環として「遺跡発掘体験セミナー」を実施した。内容については、表のとおりである。

特に今年度は、国の補助金を得た「埋蔵文化財学習活用事業」により、遺物貸し出しに対応するための貸出ケースや体験学習に必要なビデオ作成、埋蔵文化財の解説カード、そしてセンターの事業内容を紹介したパンフレットなども作成した。

平成17年度 資料普及事業実績一覧表

| 月   | 出前支援事業          | 対象人員 | 職場体験等    | 対象人員 | 遺跡発掘体験セミナー               | 対象人員 | 講演会講師派遣        | 対象人員 |
|-----|-----------------|------|----------|------|--------------------------|------|----------------|------|
| 4月  |                 |      |          |      |                          |      |                |      |
| 5月  | 相川小学校講師派遣       | 71名  |          |      |                          |      | 梅山高校1年生        | 31名  |
|     | 一宮西小学校土器と石器に触れる | 90名  |          |      |                          |      |                |      |
|     | 一宮西小学校火起こし      | 90名  |          |      |                          |      |                |      |
| 6月  | 湯田小学校土器づくり      | 55名  |          |      |                          |      | ことぶき勤学院南都留学園   | 40名  |
|     | 湯田小学校土器成形       | 55名  |          |      |                          |      | ことぶき勤学院東山梨学園   | 36名  |
|     |                 |      |          |      |                          |      | ことぶき勤学院北区厚学園   | 28名  |
|     |                 |      |          |      |                          |      | ことぶき勤学院南巨摩学園   | 35名  |
| 7月  | 疊合小学校土器づくり      | 41名  |          |      |                          |      | ことぶき勤学院北都留学園   | 39名  |
|     | 疊合小学校土器焼き       | 41名  |          |      |                          |      | ことぶき勤学院甲府学園    | 50名  |
|     | 湯田小学校土器焼き       | 55名  |          |      | 第1回体験セミナー                | 36名  | やまなし児童見摸座      | 120名 |
| 8月  |                 |      | 職場体験(発掘) | 7名   | 文化財活用支援講座<br>(小中高校の教員対象) | 10名  | 南巨摩郡教育研究集会     | 30名  |
|     |                 |      | 職場体験(整理) | 4名   |                          |      |                |      |
| 9月  | 相川小学校講師派遣       | 71名  |          |      | 第2回体験セミナー                | 16名  |                |      |
|     |                 |      |          |      | 第3回体験セミナー                | 20名  |                |      |
|     |                 |      |          |      | 第4・5回体験セミナー              | 8名   |                |      |
| 10月 |                 |      |          |      |                          |      | 春日居あぐり情報ステーション | 20名  |
|     |                 |      |          |      |                          |      | 春日居あぐり情報ステーション | 20名  |
| 11月 |                 |      | 職場体験(整理) | 9名   | 第6回体験セミナー                | 13名  | 講演派遣           | 40名  |
|     |                 |      |          |      | 第7回体験セミナー                | 31名  |                |      |
| 12月 | 加納岩小学校土器づくり     | 61名  |          |      |                          |      |                |      |
| 1月  | 加納岩小学校土器焼き      | 61名  |          |      |                          |      | 城南中学校          | 20名  |
| 2月  |                 |      |          |      |                          |      | 総文シンポ 2/25     | 100名 |
| 3月  |                 |      |          |      |                          |      |                |      |
| 計   |                 | 691名 |          | 20名  |                          | 134名 |                | 609名 |

総計

1,454名



山梨市立加納岩小学校での土器づくり体験の状況(1.19)



一宮西小学校 土器と石器に触れる(5.25)



甲府城下町遺跡での体験発掘実施状況(9.17)



相川小学校で実施した弥生時代の水田について(5.27)  
と稲刈りについて(9.27)



甲府城石垣詰め石体験の状況(9.17)



職場体験受け入れ(11.8から10)



甲府城石垣詰め石体験の状況(9.17)



金川の森公園で実施した古墳測量体験の状況(11.20)

#### 4 収蔵資料の貸し出し及び掲載許可一覧

取載資料曾出許可一覽

## 写真資料の貸出並びに掲載許可一覧

| 番号 | 申請日    | 申請者            | 利 用 目 的   | 申請物件名             |
|----|--------|----------------|---|-------------------|
| 1  | 4月18日  | 山梨日新聞社編集局文化部   | 記事資料として   | 甲府城跡 柳沢家家紋付鬼瓦     |
| 2  | 5月4日   | さいたま川の博物館      | 特別展「葬る魂」における写真パネル及び図録等刊行物へ掲載するため                                | 安道寺遺跡 土器          |
|    |        |                |   | 酒呑塔遺跡 上器          |
|    |        |                |   | 甲ノ原遺跡 上器          |
|    |        |                |   | 人木戸遺跡 土器          |
|    |        |                |   | 天神遺跡 露華大塔         |
| 3  | 5月20日  | 北神市長坂郷土資料館     | 企画展「北神・山梨ゆかりの鍾～甲賀、その移り変わり」 展示に展示、印刷物に掲載のため                      | 丸山古墳 整頓板草継短甲(複製品) |
|    |        |                |   | 大坂古墳 掛甲小札         |
| 4  | 6月21日  | 山梨県考古学協会       | 「山梨考古96号」に掲載のため   | 大師東丹保遺跡Ⅳ区 東列倒筒南真  |
|    |        |                |   | 人師東丹保遺跡Ⅳ区 古墳塚     |
|    |        |                |   | 百々遺跡2 7号住居跡       |
|    |        |                |   | 二本柳遺跡 調査作業風景      |
| 5  | 6月29日  | 甲府城の調査研究を支援する会 | 新聞広告及びチラシに掲載するため  | 甲府城跡 鰐瓦           |
| 6  | 6月29日  | 株式会社 雄山閣       | 松浦翁一部書「日本の先史文化—その源流と特質」に掲載のため                                   | 金牛遺跡 中空土偶         |
|    |        |                |   | 安道寺遺跡 有孔鈎付土器      |
|    |        |                |   | 殿林遺跡 漆鉢形土器        |
| 7  | 7月25日  | DAIICHI ARTS   | FIRIED WITH PASSION (仮)に掲載のため                                   | 天神遺跡 漆鉢形土器        |
|    |        |                |   | 殿林遺跡 漆鉢形土器        |
| 8  | 8月10日  | 山梨県立科学館        | プラネタリウム番組「てのひらの星—水晶たんけん隊がいく」において使用するため                          | 大木戸遺跡 水晶製石像       |
| 9  | 8月11日  | 船橋市駒ノ台歴史公園博物館  | 企画展「縄文世界のアールヌーヴォー 半圓なる装飾美 中層上器の表現」の図録に掲載のため                     | 酒呑塔遺跡 深鉢形上器       |
|    |        |                |   | 上野原遺跡 漆鉢形土器       |
|    |        |                |   | 北朝遺跡 漆鉢形土器        |
|    |        |                |   | 甲ノ原遺跡 漆鉢形土器       |
|    |        |                |   | 安道寺遺跡 漆鉢形土器       |
|    |        |                |   | 忍町農業高校前遺跡 漆鉢形土器   |
| 10 | 9月5日   | 宮崎県佐土原町教育委員会   | 特別企画展「佐土原城跡天守台と金の鏡—日本最南端の天守—」の展示パネルとして使用するため                    | 甲府城跡 金箔鏡瓦         |
| 11 | 9月11日  | 山梨県立博物館        | 山梨県立博物館常設展示図録に掲載のため   | 甲府城跡 金箔鏡瓦         |
| 12 | 9月15日  | グルーブ・ニライカナイ    | 海外向け音楽「Jomon At Glance」及びインターネットホームページに掲載のため                    | 天神遺跡 漆鉢形土器        |
|    |        |                |   | 上の平遺跡 漆鉢形土器       |
|    |        |                |   | 中谷遺跡 痘口土器         |
|    |        |                |   | 上野原遺跡 漆鉢形土器       |
|    |        |                |   | 殿林遺跡 漆鉢形土器        |
| 13 | 9月26日  | 山梨県考古学協会       | 山梨県考古学協会2005年度研究集会「牧と考古学—馬をめぐる諸問題—」の印刷物に掲載及びインターネットホームページに掲載のため | 百々遺跡 馬骨出土状況       |
| 14 | 10月7日  | 株式会社 見聞社       | 「すぐわかる日本の伝統文様」に掲載のため  | 殿林遺跡 漆鉢形上器        |
| 15 | 10月17日 | 株式会社 青月社       | 「週刊ビジュアル日本の歴史 増補版」第120号に掲載のため                                   | 金牛遺跡 中空土偶         |
| 16 | 10月17日 | 玉柏町教育委員会       | 平成17年度関東甲信越静岡く規範文化財担当職員共同研修協議会において使用するため                        | 油田遺跡 地割れ痕         |
|    |        |                |   | 人師東丹保遺跡 遺構写真      |
|    |        |                |   | 地割れ痕              |
| 17 | 11月16日 | 株式会社 学習研究社     | 社会科教科書教材「縄文人の社会と信仰」に掲載のため                                       | 金牛遺跡 中空七個         |
| 18 | 11月18日 | 株式会社 吉川弘文館     | 「文字と古代日本5 文字衣冠の獲得」に掲載のため  | 金牛遺跡 有孔鈎付土器       |
| 19 | 12月5日  | 株式会社 青月社       | 「週刊ビジュアル日本の歴史 増補版」第103号に掲載のため                                   | 殿林遺跡 漆鉢形上器        |
| 20 | 12月9日  | 株式会社 ランズ       | 「日本通史別館・歴史絵巻」に掲載のため   | 大木戸遺跡 土偶          |
|    |        |                |   | 糸井堂遺跡 土偶集合        |
| 21 | 12月27日 | 長沢宏昌           | 「甲斐国1000年の都巣歴」公園資料に掲載のため  | 花島山遺跡 土器・土偶       |
|    |        |                |   | の沢遺跡 上器・土偶        |
|    |        |                |   | 經塚古墳 金具           |
|    |        |                |   | 龟甲塚古墳 金冠          |
|    |        |                |   | 中丸遺跡 土偶(複製品)      |

| 番号 | 申請日   | 申請者         | 利用目的  | 申請物件名  |
|----|-------|-------------|---|--|
|    |       |             | 积迦堂遺跡   | 土器・石器・土偶・ハマグリ  |
|    |       |             | 寺本庵寺  | 瓦壇・後元資利・心鏡・瓦   |
|    |       |             | 甲斐国分寺   | 基壇・土器  |
|    |       |             | 大原遺跡  | 土器   |
|    |       |             | 人坪遺跡  | 上器   |
|    |       |             | 二光遺跡  | 大珠   |
| 22 | 1月10日 | 村田文夫        | 研究及び学術誌掲載のため<br>滋賀県「地下からのメッセージ～苗吹市・甲州市の遺跡」に<br>掲示するため | 滋賀県遺跡<br>金牛遺跡<br>舟形土器  |
| 23 | 1月20日 | 积迦堂遺跡博物館    | 企画展「地下からのメッセージ～苗吹市・甲州市の遺跡」に<br>掲示するため                 | 舟形土器<br>一の沢遺跡<br>土器<br>上器無合瓦質<br>安道寺遺跡<br>水煙把手村土器<br>猪俣御付土器<br>殿林遺跡<br>深鉢形土器<br>北原遺跡<br>人面装飾付上器<br>經塙古墳<br>古墳全貌<br>牛居沢遺跡<br>空跡検出状況<br>鬼甲塙古墳<br>波<br>石横堀里遺構<br>4号導<br>佐原遺跡<br>墨吉土器<br>积迦堂遺跡<br>土偶<br>金牛遺跡<br>土器<br>溝道前C遺跡<br>土器   |
| 23 | 2月7日  | 株式会社 学術研究社  | 「ニューウィドーかん百科 日本の歴史」に掲載のため                             | 积迦堂遺跡  |
| 24 | 3月3日  | 丹 淳志        | 博士論文へ掲載のため  | 金牛遺跡<br>溝道前C遺跡   |
| 25 | 3月30日 | 南アルプス市教育委員会 | 埋蔵文化財周知用マップ「遺跡で学ぶ」シリーズに掲載する<br>ため                     | 仲田遺跡<br>水田跡<br>足跡<br>参道跡<br>水田跡と流路<br>大塚遺跡<br>土器<br>住居跡<br>石横堀里遺跡<br>墓<br>道路跡<br>立石下遺跡<br>上器<br>奈良三彩<br>遺跡全景<br>百々遺跡<br>遺跡全景<br>馬骨山土状況<br>丸窓<br>二木柳遺跡<br>(甲西バイパス)<br>史跡の鍍り金具<br>木棺<br>木精靈書<br>調査風景<br>大師東丹保遺跡<br>杭列出土状況<br>溝跡<br>嗣代出土状況<br>二木柳遺跡(福寿院)<br>土器<br>調査風景<br>新居造下遺跡<br>調査風景<br>土器<br>腰帶具 |

## 5 第18回市町村埋蔵文化財専門職員研修会

本研修会は、山梨県内の市町村埋蔵文化財担当者を対象に、最新の考古学研究の方法や技術、埋蔵文化財行政が抱える問題などを考え埋蔵文化財に従事する専門職員の資質向上と技術習得を目的として研修を行っているものであり、今回で18回を数える。2005年度については「埋蔵文化財における最新の保存処理技術について」  
— 古代墳塚保存のあり方 — 内外の古代墳塚保存のあり方を聞く — と題して2006年午後1時30分より4時まで、風土記の丘研修センターを会場に筑波大学大学院人間総合研究課（世界遺産学担当）教授沢山正昭先生を講師にお招きしご講演いただいた。内容は文化財の保存科学概説から高松塚古墳や中国での壁画保存の事例紹介など興味深いお話を伺うことができた。なお、参加者は県内市町村職員などを含め32名であった。

## 6 遺跡調査発表会

遺跡調査発表会は、山梨県内で当該年度に発掘調査された遺跡について、調査内容や成果を公表する催しとして、上半期・下半期と年2回開催している。開催は山梨県考古学協会と共に実施し、スライド上映を交えた説明、出土遺物や写真パネルのミニ展示も併設している。また、各調査担当者からの説明に加え、時代・時期・地域などの特性に応じた専門家からのコメントを追加し、参加者の理解を高める方策をとっている。本年度の発表内容等は次のとおりである。

### ■ 2005年度上半期遺跡調査発表会（参加人数81名）

開催日時 2005年10月1日（土）午後1時から4時15分まで

開催会場 風土記の丘研修センター 講堂

発表1 「坂井遺跡」（韮崎市） 発表者 韮崎市教育委員会 間間俊明

縄文時代中期・古墳時代前半・平安時代集落跡の調査報告

発表2 「大藏經守前遺跡」（笛吹市） 発表者 帝京大学山梨文化財研究所 櫛原功一  
古墳時代中期の古墳群の調査報告

発表3 「武田氏館跡」（甲府市） 発表者 甲府市教育委員会 佐々木満  
大手口・主郭部大手十橋の調査

発表4 「向山遺跡」（北杜市） 発表者 北杜市教育委員会 村松佳幸  
中世の礎石建物跡を伴う墓域の調査報告

発表5 「鰐沢河岸跡」（南巨摩郡鰐沢町） 発表者 県埋蔵文化財センター 保坂康夫  
江戸時代の関所跡周辺の調査報告

### ■ 2005年度下半期遺跡調査発表会（参加人数60名）

開催日時 2005年3月18日（土）午後1時から4時30分まで

開催会場 帝京大学山梨文化財研究所 大ホール

報告 「本年度山梨県内の埋蔵文化財の調査と保護」 発表者 県教育庁学術文化財課 保坂和博  
平成17年度の県内調査動向および埋蔵文化財保護状況についての報告

発表1 「梅之木遺跡」（北杜市） 発表者 北杜市教育委員会 佐野隆  
縄文時代中期の環状集落跡や水場遺構についての調査報告

発表2 「車居遺跡」（笛吹市） 発表者 笛吹市教育委員会 望月秀和  
古墳～平安時代の集落跡・敷石造構についての調査報告

発表3 「小井川遺跡」（中央市） 発表者 県埋蔵文化財センター 猪股一弘  
中世の大型建物跡および県内でも最古の紀年銘をもつ五輪塔の調査報告

発表4 「円乗寺跡」（甲府市） 発表者 県埋蔵文化財センター 小林孝子  
中世前半期の行者堂や六十六部羅刹関連遺構である六角堂の調査報告

発表5 「ロタコ（御動使河原飛行場跡）」（南アルプス市） 発表者 南アルプス市教育委員会 田中大輔  
第二次世界大戦前に作られた立川航空廠管轄の秘密飛行場跡の調査報告

## 7 「山梨の遺跡展2004」巡回展と「山梨の遺跡展2006」

「山梨の遺跡展2004」巡回展は、「山梨の遺跡展2004」で使用した写真パネルの展示を中心に5ヶ所で行われた。市町村教育委員会の主催では、身延町湯之奥金山博物館で平成17年4月26日～5月31日に写真パネル、銚子塚古墳・鰐沢河岸跡・勝沼堰堤出土遺物を、旧玉穂町生涯学習館で6月1日～6月23日に写真パネルを、笛吹市积迦堂遺跡博物館で12月1日～12月26日に写真パネル、銚子塚古墳・玉川金山遺跡・足原田遺跡・鰐沢河岸跡・勝沼堰堤出土遺物を、ミュージアム都留で平成18年1月12日～3月3日に写真パネル、銚子塚古墳・玉川金山遺跡出土遺物を貸し出した。センター主催では、県民情報プラザで、平成17年9月2日～10月2日に写真パネルを展示した。

「山梨の遺跡展2006」は、2005年度中に県内各地で行われた発掘調査の成果、資料普及活動の様子などを広く一般に公開することと、いち早く県民に紹介することを目的として、平成18年3月18日～4月9日まで、県立考古博物館の多目的室で開催した。入場は無料とした。なお今年度より、名称を開催年とすることにした。

展示の内容は、(1)当センターによって発掘された遺跡の展示、(2)市町村によって発掘された遺跡の展示、(3)当センターの資料普及活動の3種類である。(1)では、都留市の玉川金山遺跡で、縄文時代の土器・石器、平安時代の土器、都留市の天正寺遺跡で、縄文時代から弥生時代の刺片・繩器、弥生時代の土器、江戸時代の錢・鉄砲玉、庖橋遺跡で、縄文・弥生・古墳時代の土器、富士河口湖町の滝沢遺跡で、弥生時代の土器・石錨・古墳・平安時代の土器・土鍤・河口湖BP関係遺跡で、井戸遺跡の縄文時代の深鉢・炭焼遺跡の平安時代の火打金・塚越遺跡の縄文・弥生時代の土器・石器など、中央市の平山宮第2遺跡で、平安時代の土器・須恵器、山梨市の足原田遺跡で、平安時代の土器・須恵器・羽口を、中世寺院分布調査では、笛吹市の聖心寺と甲府市円乗寺から出土した陶磁器を、小井川遺跡で、中世の五輪塔・宝篋印塔の部材の他、土器・陶器などを、鰐沢河岸跡で、近世の竹櫓・木櫓や陶磁器・ビンなどを展示了した。写真パネルのみの展示では、銚子塚古墳・四ノ側遺跡・甲府城跡が行った。

(2)では、北杜市教育委員会の発掘による縄文時代の水辺の作業場や道が発見された柳之木遺跡と中世の礎石建物を伴う墓域が確認された向山遺跡、並崎市教育委員会の縄文時代中期の有名な坂井遺跡・中世の武田氏最後の居城である新府城跡、南アルプス市教育委員会の峠西地域唯一の前方後円墳である物見塚古墳・第二次世界大戦時のロタコ（御駆使川原飛行場跡）、笛吹市教育委員会が吻山梨文化財研究所の協力により調査した古墳時代の大藏經寺前遺跡、甲府市教育委員会の武田氏館跡、中央市教育委員会の中世の区画溝や木棺墓が確認された上崖遺跡から出土遺物や写真を借用して展示了した。

(3)では、体験発掘セミナーや出前支援事業として行った「土器作り・火起こし体験」などの様子を写真で紹介した。

## 8 埋めやまなし

### 第21号

本号では、2005年3月12日から開催された「山梨の遺跡展2004」の開催報告を巻頭で紹介し、発掘調査速報では、洪水中に埋もれた平安時代の集落である平山宮第2遺跡の調査成果を掲載した。また、特集「遺跡はどうやってみつけるの？」ではイラストで素朴な疑問に答える紙面を作成し、その他、「甲府城展」の開催や、官西小学校での出前支援事業の様子を報告し、あわせて各種事業の案内をおこなった。

### 第22号

最新の発掘調査成果として富士河口湖町の滝沢遺跡を取り上げた。また資料普及活動としておこなった出前支援事業・先生のための文化財活用支援講座の様子を報告した。「縄文土器文様（施文具）を探せ！」では縄文土器の文様と、その施文具をクイズ形式で紹介した。「特集 遺跡ってどうやって掘るの？－住居跡編－」では住居跡の発掘調査の手順の紹介をおこなった。上半期遺跡調査発表会開催の様子・最近の発掘調査情報を掲載した。

### 第23号

「特集 整理作業での新発見!!」として、本年度整理作業がおこなわれた6遺跡について、整理作業から得られた成果を紹介した。また、本年度の資料普及活動の実績についての紹介・市町村埋蔵文化財専門職員研修会・縄文シンポ「川がつなぐ山梨の歴史」・下半期遺跡調査発表会などの開催報告の記事を掲載した。

## 9 県指定史跡甲府城跡活用事業

県指定史跡甲府城跡（都市公園舞鶴城公園）は、JR甲府駅の正面にあることからも、県都甲府の顔であり、長らく県民に親しまれてきた。近年は、県土木部がおこなう舞鶴城公園整備事業により城内が綺麗に整備され、稲荷櫓も復元されたことから県内外からの訪問者も多い。

その一方で、引き続き県内における甲府城に対する関心度も非常に高く、センターには様々な依頼や質問が寄せられ、対応してきた。

また、センターでは甲府城に関わる様々な調査等を積極的におこない、その成果を広く公開し、より甲府城を理解し活用していただくための事業を平成17年度も実施した。

### 委員会開催

6月9日に、県教育委員会が主催する甲府城跡保存活用等調査委員会が新たに発足し、第1回目として甲府城に関わる歴史史料の充実や整備事業など全般を検討していくことが確認された。

なお、第2回は2月24日に開催された。

9月6～7日には、甲府城跡保存活用等調査委員会からも指摘を受け、甲府城跡出土の金箔瓦の詳細な検討を進めるために、滋賀県立安土城考古博物館を中心に資料調査を実施した。



甲府城跡保存活用等調査委員会開催状況

### 講演等

7月8日には、山梨県生涯学習推進センターが実施す

る「やまなし再発見講座」の依頼を受け、甲府城に関する歴史と築城期の土木技術について同センターで講演をおこなった。この講座では、県内の県庁合同庁舎がネットワーク化され、直接会場に来なくともモニターを通じて聴講ができるもので、遠隔地からの質問も多く、本県における甲府城に関する関心の高さを再認識した。

7月10日には、中道町風土記の丘研修センターを会場に、県内の甲府城研究団体から依頼を受け、甲府城の石積技術や当時の制度について講演をおこなった。質疑では独自の研究視点や、まだ理もれている県内資料の存在など一步踏み込んだ様々な質問が寄せられた。

8月17日には、身延町総合文化会館を会場に、南巨摩郡社会科協議会からの依頼を受け講演をおこなった。講演では、関西からの土木技術者による指導のなか実施された甲府城築城だが、南巨摩郡一帯には多くの土木技術者がおり、甲府城築城に大きく関わっていた可能性を指摘し、やがて、その在地の技術者は江戸時代から近代にかけて、取得した土木技術を活かし富士川の開削や補修をおこなうなど高い土木技術を有したことの調査成果をもとに解説した。質疑では、このような教材化できる文化財情報の公開を一層求められた。

10月20日には、笛吹市教育委員会が実施している笛吹市民講座のスコレーライフで講座を担当し、甲府城の歴史や城下の文化を駿東地域との関わりを含め解説した。あわせて、10月27日には城内の現地見学をおこない城内の構造や石垣、建物復元などの理解を深めた。



城内視察のようす

11月25日には、本県で関東甲信越静地区埋蔵文化財担当

職員共同研修協議会が開催され、最終日に城内の見学を実施した。見学にあたっては、平成2年度から進められてきた舞鶴公園整備事業の概要を説明し、近年実施してきた石垣改修工事や詰石など修繕工事、稲荷橋復元事業などを紹介し、あわせて土木部との事業体制や石垣改修工事に関する課題などを報告した。

11月30日には、国土交通省富士川砂防事務所の依頼を受け、甲府城石積技術と技術者に関連して富士川流域の土木技術ならびに土木技術者の系譜について言及し、急峻な山々に閉まれ治水対策が常に重要な政策であったがゆえの山梨の土木技術発展をテーマに解説をおこなった。

#### 関連事業

4月9～19日には、第2回「甲府城発掘展」－甲府城大修築と柳沢家－を城内の恩賜林記念館で開催した。この事業は、昨年度より5ヶ年計画で実施されているもので、甲府城築城期・柳沢時代・甲府勤番士時代・幕末から明治時代・近現代の時代別にテーマを設定しており、総合的に甲府城の歴史を公開している。今回は延べ11日間の開催期間中およそ2000名の方に訪れていただいた。

9月17日には、天守台石垣で実施中の石垣修繕工事に合わせ、センターで実施する発掘体験セミナーの一環として、石垣詰石の補充体験を実施した。実施にあたっては、県土木部や施工者、石工らの協力を得て、県内の親子らが参加した。

2月25日には、山梨県立図書館講堂を会場に第2回埋文シンポジウム「再発見！川がつなぐ山梨の歴史」を開催した。

テーマは、江戸時代以降に甲斐の大動脈であった富士川舟運やその拠点駿河岸、大正時代に完成して以降、今も大きな役割を果たしている勝沼堤など、山梨の地理的風土や歴史を通じて形成され、全国的にも高い評価を受けている土木の歴史遺産とその土木技術について、センター及び県土木部職員がパネラーとなり実施した。

これは、平成16年度に山梨県立図書館講堂で、甲府城跡の発掘調査や石垣整備を通じて明らかになってきた成果や課題をテーマに実施した第1回の埋文シンポジウム「甲府城の歴史と石工」に続くもので、発掘調査に限らず歴史史料や構造などにも踏み込んだ技術論のシンポジウムである。

#### 県外関係

この他に、神奈川県小田原市教育委員会からの依頼を受け、史跡小田原城調査・整備委員会石垣専門部会に平成15年度より参加している。本年度も引き続き現地に赴きながら、石垣改修方法について検討をしたほか、石川県・石川県教育委員会の城郭整備担当者の甲府城視察を受け、石垣改修方法を説明しつつ、改修方法についての情報交換をおこなった。

また、滋賀県立安土城考古博物館の視察を受け、調査経過と成果を説明のうえ、出土瓦の情報交換をおこなった。



埋文シンポジウムのようす

## 10 遺跡データ管理

今年度、新たに遺跡の発見や遺跡範囲の変更などがあった。遺跡情報管理システム（GIS）に登録した件数は8件で、その内訳については、遺跡の発見（1甲州市：北山中遺跡、2北杜市：横山平遺跡、3富士河口湖町河口：谷抜遺跡）3件と、遺跡の範囲変更（1駿河町：駿河岸跡、2北杜市：山本遺跡、3大月市：畠倉ヤスバ遺跡、4韮崎市：西表堤防遺跡、5笛吹市：御崎林遺跡）5件である。

## 11 所内研修

所内研修は職員が共通認識を持っておくべき課題や、業務に関して必要とされる項目などその都度テーマを設定して所内会議により実施してきたものである。

本年度の所内研修は昨年度に引き続き、文化庁より示された『行政目的で行う埋蔵文化財の調査についての標準（報告）』（2004年10月29日）をもとに埋文センターにおける発掘・整理作業のマニュアル作成に向か、各担当ごとに現状をふまえた構成、検討を実施し原案の作成を行った。

## 12 発掘・整理作業標準化

本年度の「発掘・整理作業のマニュアル（試掘・確認調査含）」は、昨年度に引き続き、文化庁より示された『行政目的で行う埋蔵文化財の調査についての標準（報告）』（2004年10月29日）をもとに、担当ごと県内の現状をふまえた構成・内容の検討を実施し、原案を作成した。

調査研究第一担当では、整理作業手法。調査研究第二担当は、古墳などの発掘調査方法。調査研究第三担当では、試掘確認調査方法。資料普及第一担当は、発掘調査手法。資料普及第二担当は、報告書の内容構成。年間を通して何回か打ち合わせを行い、今までの経験をもとに細かい部分にも標準化を目指した。来年度も更に検討を重ね、計画を統合して行く方針である。

## 13 寄贈・購入図書

毎年約3,000～4,000冊が寄贈・購入されている。寄贈図書の内容は、全国の都道府県・市町村教育委員会から送られてくる発掘調査報告書・年報・研究紀要、博物館・資料館などの企画展・常設展の図録などである。そのほかに、業務に関する考古学・歴史学の専門書、学術雑誌を購入している。

平成17年度（2005年度）は約4,000冊の寄贈があり、約135冊購入した。総登録数約70,000冊と大塚文庫約11,000冊と合わせ、約81,000冊が現在、収蔵されている。

年度別登録図書数

| 年<br>度        | 新規登録図書 | 総登録数   |
|---------------|--------|--------|
| 平成9年度（1997）以前 | —      | 37,252 |
| 平成10（1998）    | 3,842  | 41,009 |
| 平成11（1999）    | 4,252  | 45,351 |
| 平成12（2000）    | 3,515  | 48,886 |
| 平成13（2001）    | 3,314  | 52,180 |
| 平成14（2002）    | 3,395  | 55,575 |
| 平成15（2003）    | 4,141  | 59,716 |
| 平成16（2004）    | 1,256  | 64,790 |
| 平成17（2005）    | 4,453  | 69,240 |

\*大塚文庫を除く

\*平成16年度よりアクセスデータ数（それ以前は台帳での数）

## 第Ⅱ章 各遺跡の発掘調査等概要

### 1 記録保存のための発掘調査

#### 1-1 小井川遺跡

所在地 中央市布施地内

事業名 新山梨環状道路建設事業

調査期間 平成17年6月1日～平成18年3月16日

調査面積 3,600m<sup>2</sup>

担当者 小林広和・猪股一弘



小井川遺跡 位置図

調査区域は、昨年度の調査区西側約3600m<sup>2</sup>を調査した。調査成

果は主に、中世における布施荘の存在を示唆する関連遺物と戦国時代の大型建物の検出である。これらは、14世紀から16世紀代における甲府盆地底部の中央部に位置する富士川左岸地域の開発過程の歴史を裏付ける重要な位置付けが与えられるものである。

##### (1) 中世・布施の莊関連遺物

現時点での確実なものは、1号溝に伴い踏み台（推測）とし転用された五輪塔の地輪4点、火輪2点、主殿西側に認められた付属建物の礎石1点の計6点が把握されている。

五輪塔・地輪（写真1）の法量は、縦20×横20×高さ15cmで、出土状況は、主殿西側建物の礎石として転用利用されている。銘文は、「延慶3年3月29日の未の時に御往生」。

五輪塔・地輪（写真2）の法量は、縦25×横29×奥行30cmで、出土状況は、打ち欠きされ、1号溝の踏み台として転用されている。銘文は「正和4年6月25日死亡の日なり」。

五輪塔・地輪（写真3）の法量は、縦35×横39×奥行45cmで、（写真2）と並んで出土。銘文は「戊の刻 二藤布施兵衛忠光（法名真顕）6□歳入滅」。

以上の銘文から、14世紀初頭の遺跡周辺で五輪塔を造立する供養が行われていたこと、それは本県においては最古の事例となることが判明した。また、遺跡周辺の布施と云う地名が鎌倉時代の末まで遡ることが可能となり、さらに個人名「二藤布施忠光」からは、名に在地名を用いていることからその人物の在住が長期に及んでいたことを示すとともに、中央の莊園領主から現地経営の任を託された在地における有力豪族の姿が鮮明になった。

##### (2) 16世紀代の建物と関連遺構

16世紀代の遺構に関しては、大型建物（上・下2層）の主殿2棟と上層建物の東西に設置された付属屋、方形石組5基、大型溝とそれに合流する池状遺構、小型溝、捨て場等が検出された。下層建物（写真4）の規模は、柱間6尺の7間×4間で、残存する礎石に火災を受けた痕跡が認められる。礎石の配置状況は、上層建物の建築の際にによるものと考えられる抜き取り行為が顕著に認められる。推定年代は、今日の土器の編年観から、15世紀～16世紀前半が考えられる。付属施設としては西側に南北に伸びる幅40cm深さ40cmの溝と南西の位置にほぼ1列に並ぶ礎石の存在が認められる。上層建物群（写真5）は、主殿を中心に東西に付属屋を設置する。主殿は30cm程度床上げを施し、規模は9間×6間で柱間は6尺となり、さらに、その周りには1尺程度の、出の小さい縁を回す。礎石は下層建物からの抜き取りにより再利用されたもので、一部には建築の際に施される基礎作業、即ち芯墨、番付の書き込みが認められた。西側付属屋は、主殿から鍵状に設けられ、礎石は用いられているが簡易なものである。東側付属屋は、掘立柱の施設で現時点では分析の段階であるが、規模は主殿に近い数値を有するものと思われる。東側捨て場は、6層以上の堆積が認められ夥しい量の遺物が出土して、その下位には大量の炭化材を伴う3基の石組が検出された。

また、幅2mを計測する大型溝の性格は現段階では、上記の建物群を囲む境界としての認識が可能と判断され、性格として地方豪族館跡あるいは寺院が想定される大型建物を中心としたそれを囲む溝の景観が捉えられた。



五輪塔・地輪出土状況



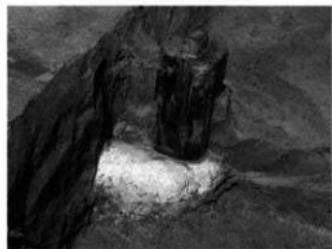
五輪塔・地輪出土状況（写真1）



五輪塔・地輪（写真2）



五輪塔・地輪（写真3）



柄出土状況



下層建物（写真4）



発掘調査風景



上層建物群（写真5）

## 1-2 鰐沢河岸跡B（口留番所跡）

所在地 南巨摩郡鰐沢町鰐沢1374-5外  
事業名 一般国道52号改築（甲西道路建設）事業  
調査期間 2005年4月26日～6月10日  
調査面積 600m<sup>2</sup>  
担当者 保坂康夫・長田隆志



鰐沢河岸跡B 位置図

鰐沢河岸跡は、江戸時代に年貢米などの輸送のために開かれた富士川舟運の船着場と問屋街、年貢米を集積する御蔵台、人の出入りを監視する口留番所などからなる経済拠点である。また、鰐沢は宿駅も設置されており、水路ばかりでなく陸路の要衝でもある。甲西道路建設に伴っての発掘調査は鰐沢河岸跡Bと称して2000年度から継続しているが、今回は調査地域の最南端に位置する口留番所跡の調査である。口留番所は、江戸幕府が設置した人や物資の出入りを監視する小規模な閑所である。鰐沢の閑所の初見は中世末の16世紀中頃であるが、別地点にあったとされており、今回調査した地点に口留番所が移転されたのは江戸時代初期の17世紀後半の可能性がある。

検出した遺構は、石垣と礎石建物、木枠などである。石垣は、8面を確認した（第1図）。石垣1～5は江戸時代から明治時代前半に構築されたものである。最も古いものは、地表下約2mで確認した石垣2で、口留番所東縁の石垣基底部の一部が1～2段かろうじて残存したものと思われる。石垣2の背後にはクサレ礎や巨礎を含む地山基盤層と、その上を覆う口留番所の初期造成層である硬質粘質土層、厚さ2～3cmの硬質粘質土層や砂層が互層して数枚重なる口留番所広場面がある。石垣5の背後にも同様な土層があり、石垣2と5とを結んだラインが口留番所の東縁と考えられる。これらの土層は、遺物をほとんど含まないが、口留番所の性格上、生活廃棄物がなかったことが背景にあると思われる。

口留番所造成層と広場面はいったん崩され、東縁を構成していただろう石垣のほとんどはいったん取り壊されて、再度造成され、石垣3・4・5が構築されたものと思われる。造成層中には手描絵付けの磁器や寛永通宝、泥メンコなどが含まれ、口留番所廃止の明治2年直後の造成層と思われる。この造成層を基盤として礎石建物が構築されている。

石垣3は、石垣2同様、石垣基底部が1～2段かろうじて残存したもので、石垣1背後を埋める角礎を主体とする礎層で埋められていた。石垣2・3前面には、酸化コバルト絵付け磁器を含む土層があり、明治初期から明治20年代までに埋め立てられたものと思われる。最も高い石垣1は3mほどあり、礎石建物などがある平坦面の崩壊を防ぐため、富士川に面する斜面に構築されたものと思われる。

礎石建物は2間×4間の規模で、北西部に入り口と思われる白と黒の小円礎の敷き石面が伴っていた。礎石建物は角礎を伴う土層で埋め立てられているが、その土層中には酸化コバルト絵付け磁器、文久永宝や寛永通宝、明治20年代までの錢貨などがみられ、明治20年代に埋め立てられたと思われる。埋め立てた層上面から約1m四方で深さ約1mの木枠が掘り込まれ、イルカ・マグロ・サメなどの海産大形動物骨が多量に出土した。銅版転写磁器などを伴い砂層で埋められていることから、明治40・43年の水害で埋没したものと思われる。

石垣1や5の前面は細砂層で埋められており、型紙摺りや銅版転写磁器などが多量に出土した。細砂層は明治40・43年に甲府盆地を襲った大水害の折りに堆積したものと推定される。石垣a・b・cはその細砂層の上やそれを掘り込んで構築されたものであり、大正から昭和にかけて構築された新しい石垣である。

古文書や古絵図によると、鰐沢口留番所には2間×4間の番所建物、門、矢来といった施設が存在するが、これらは現在の国道52号線の下に所在しているものと推定される。しかし、今回の発掘調査で、口留番所の東縁部を把握し、その所在が確認できたことは大きな成果である。明治3年に市川代官所に提出された古文書に、宝永3年（1706）の口留番所敷地面積が7畝27分（783m<sup>2</sup>）と記載しており、今回調査で確認した東縁の長さが34.8mなので、奥行きが22.5mと推定される。



調査風景



礎石建物跡



下層掘り下げ状況



最下層の石垣 2



口留番所造成層（右）と廃止以降の疊層（左）



高さ 3 m の石垣 1（手前）



鍋沢口留番所跡遺構配置図

# 1-3 鮎沢河岸跡C（横町地区）

所在地 南巨摩郡鮎沢町1466外（横町地区）  
事業名 一般国道52号改築（甲西道路建設）事業  
調査期間 2005年4月21日から10月19日  
調査面積 1200m<sup>2</sup>  
担当者 保坂康夫・長田隆志



鮎沢河岸跡C 位置図

鮎沢河岸跡は、富士川を利用した河川交通の川の港として江戸時代に整備され、明治時代頃まで経済の動脈として繁栄した。甲西道路建設に伴う発掘調査は、2000年度から今年度まで継続し、今年度は口留番所地区の調査に引き続き、鮎沢河岸跡最北端の横町地区的調査を実施した。付け替え道路部分の1・2・3・5区、橋台部分の4区、橋脚部分の6区と、6つの区画に分けて調査した。

検出した遺構は、1区では、南端部で石垣によって区画され、周囲より1mほど高い平坦面に礫石と焼土面が確認された。また、石垣で四方を囲んだ長さ5m、幅3m、深さ2mの地下貯蔵施設と思われる構造物が1基みられた。東縁部では、南北方向に比較的大形の礫を用いた石垣基底部が、延長15mにわたって検出された。

2区では、石垣や石列による土地区画が隣接する1区より狭く、狭い範囲に多くの遺構が検出され、遺構の密度が高い。1区との境には、東西方向に調査区を横切る2mほどの高さの石垣が延長18mにわたって検出された。3段階に積み足された痕跡があり、洪水等で埋積されるたびに上に積み直していく結果、2mもの高さになったものと思われる。中央には高さ50cmほどの低い石垣で周囲より高く区画された地割があり、南東隅に3段の段が設けられていた。この区画の基底部には厚さ20cmほどの焼土層があり、炭化木材も伴うことから、火災で出た廃材を埋設して区画を形成したものと思われる。その区画の中央部には井戸状の円形の石積みがあるが、底に石敷きがあるため地下貯蔵施設の可能性がある。その北側には周囲より低く区画された焼土面を伴う区画があり、南西隅に4段の階段が設置されていた。このほか、方形木枠や円形粘土枠が確認された。

3区では、高さ2mほどの石垣が東西方向に長さ5mにわたって検出された。大形の加工礫を積んだ上半部と比較的小形の角礫を積んだ下半部の2段に分かれ、洪水等で埋まった後に積み足されたものと思われる。その北側には高さ1mの石垣が平行しており、両石垣に挟まれた幅2mほどの空間は道となっていたと思われ、鮎沢町役場に残る明治年間の地籍図に示された道部分とも合致する。道路の北側には石列と石垣で区画された平坦面があり、敷石を伴う礫石建物跡が確認された。さらにその北側では石列で区画された幅2mほどの空間があり、鮎沢町役場に残る明治年間の地籍図にも記載されている道路である。

4区では、2区から連続する高さ2mの石垣の東端コーナー部分を検出した。その北側では炊事場と思われる砂層を伴う粘土枠がみられ、周囲が石敷きされていた。その東側には大形加工礫による石垣の基底部が残存していた。

5区では、地表下1.5mで東西方向の石列を延長8mにわたって検出した。その石列から20cmほど下位で、クランク状の石列を確認した。

6区では、3区から連続する高さ2mの石垣を検出した。上半部は大形加工礫、下半部は小形角礫と用材の違う上下2段の石垣である。これに平行する高さ1mの石垣と道路も連続し、道路は南にL字に屈曲していた。道内には焼土層がみられ、火災時の廃材を道に廻棄したものと思われる。東側には石列で区画された地割が検出され、天保通宝などの錢貨が出土している。

遺物は、江戸時代中頃から明治時代にかけての陶磁器、寛永通宝や天保通宝などの古銭、泥メンコなどである。磁器は、肥前焼きを中心とする碗や皿、鉢などが多くみられる。なお、調査地域周辺では松本藩御米蔵が推定されていたが、今回の調査でそれにかかわると思われる遺構等は確認できなかった。



1区礎石と焼土面を伴う平坦面



2区高さ2mの石垣と円形粘土棒



3区古い道と敷き石を伴う礎石建物



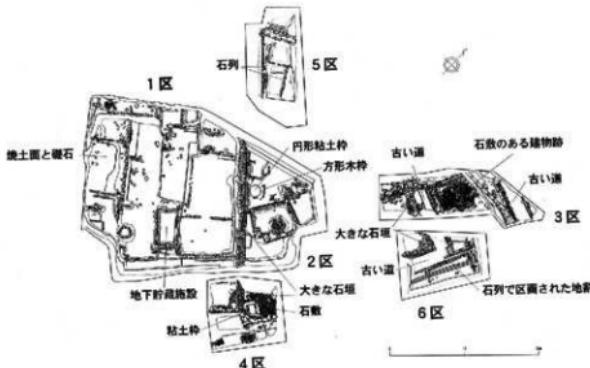
4区高さ2mの石垣と粘土棒



5区上下2層の石列



6区上下2段の石垣と道



鍋沢河岸跡C遺構配置図

## 1-4 平田宮第2遺跡

所在地 中央市下河東字平田宮1110他  
事業名 新山梨環状道路建設事業  
調査期間 平成17年5月16日～7月14日  
調査面積 450m<sup>2</sup>  
調査担当 綱倉邦生・酒井玄暁



平田宮第2遺跡 位置図

平田宮第2遺跡は、玉穂町の中央を北から南へ流れる今川右岸、標高252mの微高地に位置している。今回の調査範囲は山梨大学グラウンド用地に接しており、南側には昨年度玉穂町教育委員会により調査された地点がある。平田宮第2遺跡から東へ100mほど離れた場所には、平成15年度に玉穂町教育委員会が発掘調査した、15世紀の溝跡と平安時代後半から鎌倉時代の水田跡が検出された上窪遺跡第2次調査地点がある。

今回の調査は、新山梨環状道路建設に伴う発掘調査である。平成16年度に玉穂町教育委員会によって試掘調査及び本調査が行われ、遺跡の存在が確認された。玉穂町教育委員会による発掘調査の結果、1) 上窪遺跡から連続すると思われる、中世(平安時代後半～鎌倉時代)の水田跡、2) 平安時代中頃の集落跡、3) 平安時代中頃の畠跡の3つの遺構面が検出された。また、平安時代中頃の集落跡の遺構より、機織り機の部材が出土している。県埋蔵文化財センターでも下水道敷設に伴う立会調査を行ったが、この際に平安時代の遺物が確認された。

今年度埋蔵文化財センターが行った発掘調査により、4つの遺構面があり、時代が異なる面の間を洪水砂が覆っていることが明らかになった。便宜的にこれらの面をI～IV面と呼称する。以下に各遺構面の結果を記述する。

第I面は、暗灰褐色砂質シルトで構成され、深さは地表下約1.6mに位置する。この面からは南北方向に走向する畦畔が3条、東西方向に走向する畦畔が1条、水口が1ヶ所確認された。水田面からは植物の株跡が検出されたが、分布は不規則であり、その種別同定は今後の検討をする。この面には木製品以外の遺物はないが、昨年度の玉穂町教育委員会の調査と今回の調査との土層対比により、平安時代後半から鎌倉時代に推定される。

第II面は、黒灰色砂質シルトで構成され、深さは地表下約2mに位置する。この面からは南北方向に走向する畦畔が1条確認された。水田面からは第I面より多くの植物の株跡が検出されたが、分布は不規則であり、その種別同定は今後の検討をする。この面は上窪遺跡第2次調査地点の水田跡に対比され、平安時代中頃から平安時代後半と考えられる。

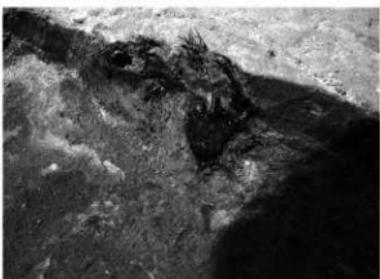
第III面は、暗灰褐色砂で構成され、深さは地表下約2.2mに位置する。この面からは、井戸1基・溝状遺構20基・土坑11基等が検出された。井戸は方形を呈する木枠の下部に曲物があり、遺存状況は良好である。県内において類例は少なく、貴重な資料である。溝状遺構の底面からは、斎申状木製品の集中出土地点が確認された。この面は、玉穂町教育委員会の調査の際に堅穴建物跡が検出されており、平安時代中頃の集落跡が想定される。また、遺構確認面の上には遺物を包含する黒灰色砂質土が検出された。

第IV面は、暗灰褐色砂質シルトで構成され、深さは地表下2.7mに位置する。この面からは南北方向に走向する畠状遺構が10条、東西方向に走向する畠状遺構が5条確認された。遺構面の上からは、墨書き器が出土しており、平安時代中頃の畠跡と考えられる。

調査地点周辺には、平安時代・中世の遺跡が濃密に分布しており、遺構面の数も複数であることが予想されるため、開発との調整を行う際には注意を要する。また、今回の発掘調査においては、調査区が狭小であったことから、第IV面(平安時代中頃)以下の遺構確認は行えなかったが、平安時代以前の遺構の存否は今後の課題である。



第Ⅰ面 完掘状況



第Ⅰ面 植物遺体検出状況



第Ⅱ面 完掘状況



第Ⅱ面 植物遺体検出状況



第Ⅲ面 井戸内遺物出土状況



第Ⅲ面 溝状遺構遺物出土状況



第Ⅳ面 完掘状況



第Ⅳ面 歪状遺構検出状況

## 1-5 天正寺遺跡

所在地 都留市井倉字赤沢平地内

事業名 都留バイパス建設事業

調査期間 平成17年7月22日～11月2日

調査面積 4,452m<sup>2</sup>

調査担当 綱倉邦生・酒井玄曉



天正寺遺跡 位置図

天正寺遺跡は、朝日川右岸、標高455～464mの山林内に位置している。周知の包蔵地としては、北西側に縄文・弥生・平安時代の遺物が出土している生出山山頂遺跡、南東側に中世の城館跡である与縄館跡、南西側に縄文・弥生・奈良・中世の遺構・遺物が出土した玉川金山遺跡がある。

都留バイパスは都留市十日市場から都留市田野倉に至る2車線バイパスとして計画されており、今回調査を実施した井倉字赤沢平地内はその第2トンネル地点付近に位置する。施工予定範囲の付近には1615年に創建された天正寺があることから、平成15年度に試掘調査を行ったところ、縄文時代の遺構・遺物が確認された。平成16年度には包蔵地の範囲確認のため、試掘調査を行った。この結果、調査対象範囲から複数のプランが検出され、また、縄文時代の遺物が出土したため、今回の本調査が実施されることとなった。

調査の実施に伴い調査区範囲を3つに分割し、北から南に向かって1～3区と命名した。調査区の特徴としては、1区と2区の北側が北東に向いた斜面地であるのに対し、3区は沢に面した傾斜地であり、1・2区と標高・地形が異なることが挙げられる。以下に調査区ごとの成果を記述する。

1区の遺構面は明茶褐色土で構成され、深さは地表下約30cmに位置する。この面からは、土坑148基・溝状遺構51条・沢跡1が検出された。調査区には数段の傾斜の異なる斜面があり、調査区南西側には北西から南東に走向する溝状遺構があり、この覆土からは近世の陶磁器片が出土した。この溝状遺構に直交する方向に土坑が連続し、また、平行して溝状遺構が検出されたが、これらは平面形状の規格性より同時期の遺構であると考えられる。『都留市史』に掲載された「与縄村絵図」によると、調査区周辺は「大豆場」つまり焼烟を行っていた場所ないしは畠地であり、調査区中央の平行する溝状遺構は畠間の凹地であると推定できる。これらの遺構の他にも、縄文土器を包含する土坑などが検出された。

2区の遺構面は明茶褐色土で構成され、深さは地表下約30cmに位置する。この面からは、土坑57基・溝状遺構11条・焼土集中2基が検出された。調査区中央は調査開始時点で未買収地であり、9月20日に実施した国土交通省甲府工事事務所調査二課との現地協議により、平成18年度に調査を行うことに決まったため、今年度は未着手となった。この調査区は1区に連続する北側と未買収地の南側に分かれる。調査区北側は土坑が散在するのに対し、南側は1区と同じ形状の溝状遺構が検出された。この溝状遺構については1区と同じ性格のものであると考えられる。また、焼土集中はいずれも土坑覆土上面にあり、数cmの層厚を持つ。

3区の遺構面までの深さは場所により大きく異なり、西側が地表下約30cm、東側が地表下約2mである。この面からは、竪穴住居跡1軒・土坑151基・溝状遺構3条・焼土集中2基・沢跡1が検出された。調査区の土層断面を観察すると、近世段階の構成土壤である暗褐色土と、縄文～弥生時代の構成土壤である明茶褐色土に分化される。調査区南西には弥生時代の竪穴住居跡があるが、竪穴住居跡の西側の傾斜が緩やかになることから、調査区の西側に弥生時代の集落が広がる可能性を指摘できる。また、天正寺遺跡から距離が近く、山中にあるということから、生出山山頂遺跡との関連が想定される。

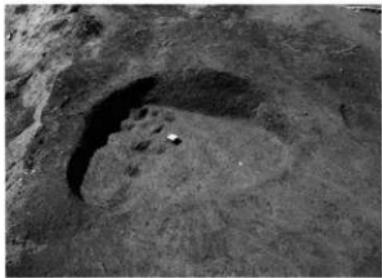
発掘調査により、縄文・弥生・近世の遺構・遺物が検出された。遺跡の特徴として、弥生時代の竪穴住居跡が出ているが、恒常的な集落ではなく、一時的な活動を行った場所であると位置付けられる。



1区 遗構検出状況



1区 溝状遺構検出状況



1区 6号土坑遺物出土状況



1区 遺構完掘状況



2区 北半遺構完掘状況



2区 南半遺構完掘状況



3区 壺穴住居跡遺物出土状況



3区 壺穴住居跡完掘状況

# 1-6 玉川金山遺跡

所在地 都留市玉川字上ノ原200-1他

事業名 都留バイパス建設事業

調査期間 平成17年11月10日～平成18年1月26日

調査面積 932m<sup>2</sup>

担当者 綱倉邦生・酒井玄曉



玉川金山遺跡 位置図

玉川金山遺跡は桂川の支流戸沢川と菅野川が合流する付近の平坦地に位置する。遺跡の北側には縄文・古墳時代の散布地である玉川遺跡や縄文時代早期の住居跡が発見された生出山山頂遺跡、西側に縄文時代の散布地である宮原遺跡や「和同開珎」が出土した奈良・平安時代の三ノ瀬遺跡がある。

今回の調査は、一般国道139号都留バイパスの建設工事に伴う発掘調査である。

平成15年度に玉川地区を対象にした試掘調査が行われ、調査の結果、縄文・平安・中世の遺物が出土したため、新規に玉川金山遺跡として周知した。玉川金山遺跡は主に3つの平坦地・緩斜面地により構成された段丘状の地形を呈しており、水路が比高差のある地形を隔てている。この内、平成16年度において、3つの平坦地・緩斜面地を西南側から1～3区と呼称し、1・2区の東南側及び3区を調査した。この結果、近世以降の面に比定される第I面から23基の焼土集中と1基の土坑・奈良時代と中世の面である第II面から奈良時代の遺構としては住居跡4軒・中世の遺構としては地下式坑1基・礫集中1基が検出され、これらの遺構の他に、時期決定が困難な遺構として、焼土集中5基・土坑33基・溝状遺構8条・柱穴20基が検出された。また、縄文時代早期の面である第III面から、焼土集中7基・土坑74基・住居跡1軒・集石4基・配石1基が確認された。

今年度調査は2区の北西側を対象に行ったところ、平成16年度調査時と同じく3つの面が検出された。以下に各遺構面の結果を記述する。

第I面は炭化物混じりの黒色土で構成され、深さは地表下0.4～1.1mに位置する。この面から建物跡3軒・土坑6基・溝状遺構17条・焼土集中4基・礫集中2基が確認された。昨年度の調査において、この面を近世に比定したが、遺構に高低差があることから遺構の年代については個々に検討する必要性がある。第I面より確認された建物跡の内、2軒は調査区の北側に広がっており、調査範囲外への遺構の広がりが予測される。

第II面は褐色粒子混じりの青灰色土層で構成され、深さは地表下1.0～1.5mに位置する。この面からは土坑26基・溝状遺構9条・焼土集中3基が検出された。土坑の内14基は掘立柱建物跡の柱穴であり、2棟分の存在が想定される。また、溝状遺構は規則的に並んでいることから、畑跡である可能性がある。

第III面は暗褐色土で構成され、深さは地表下2.0～2.5mに位置する。遺構面である暗褐色土の上には山から崩落した土壤である礫混じりの明茶褐色土が厚く堆積している。この面からは集石2基・焼土集中5基が確認された。焼土集中は掘り込みの中に焼土が充填される様相で検出されるが、連穴土坑の様な構造はない。焼土集中と集石は近接し調査区の北東側に位置するのに対し、調査区の南西側から遺構ではなく、限定された空間を利用したことが分かる。この面は出土した遺物から縄文時代早期と判断される。

調査の結果、施工対象区内には3つの遺構面が存在することが確認された。しかし、第I面と第II面において同一のレベルで遺構が確認されているわけではないことから、遺構の年代については遺物や年代測定を含めた検討が必要である。(第I～III面とは主に構成されている上層から区分したものであり、微視的に見ればそれぞれの面のなかにおいて複数の時期に分化される可能性がある) また、遺構が調査区の北側と南側に伸びていく様相を呈していることから、周辺の開発行為に際しては、試掘調査を行う必要性がある。



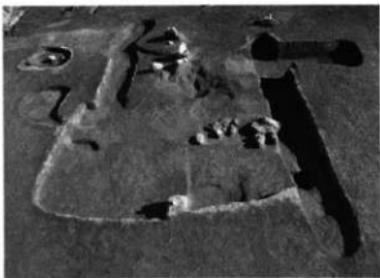
第Ⅰ面 遺構完掘状況



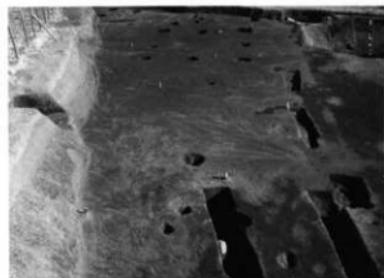
第Ⅰ面 焼土集中検出状況



第Ⅱ面 遺構検出状況



第Ⅱ面 1号建物跡完掘状況



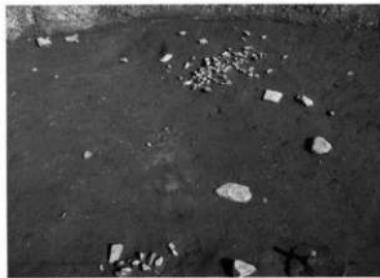
第Ⅱ面 遺構完掘状況



第Ⅱ面 挖立柱建物跡完掘状況



第Ⅲ面 遺構検出状況



第Ⅲ面 G-7・G-8 グリッド遺構検出状況

# 1-7 足原田遺跡Ⅱ

所在地 山梨市万力759外  
事業名 西関東連絡道路建設事業  
調査期間 2005年5月10日～9月27日  
調査面積 約2,200m<sup>2</sup>  
担当者 田口明子・鶴田博

足原田遺跡は山梨市万力に所在し、東には笛吹川が南北方向へ流れ、北西方向には棚山や兜山がそびえている。この調査は西関東連絡道路建設事業に伴うもので、2005年度の調査（第3次調査）は、2004年11月から12月にかけて行われた第2次調査西側の未調査箇所を行ったものである。

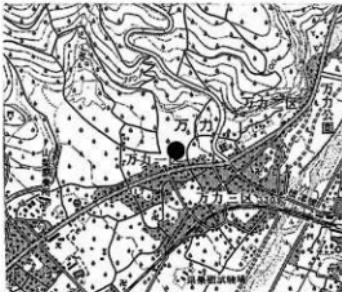
調査の結果、平安時代後期の住居跡を23軒検出したほか、溝5条、土坑7基、畝状遺構を確認した。第2次調査で確認した川の流れた跡を示す砂礫は、調査区の東側で東西方向に堆積していることが確認できた。また、遺物のみで遺構は確認できなかつたが、古墳時代前期の土師器や中世の陶磁器・土器が出土した。

住居跡に関しては、22号住居跡から須恵器の破片が約2.7m×1.4mの範囲で散在して出土した。接合の結果、一条の凸帯と耳状の突起が付いた壺となつた。現存する器高は約22.5cm、底径は約12.8cm、体部径は約21.2cmで、耳状の突起には小さな穴が縦に貫通しており、また、口縁部と胴部の一部が欠けている。このような壺に凸帯付四耳壺とよばれるものがあり、長野県内で多く見つかっている。山梨県内では長野県に隣接する北巨摩地域で多く出土する一方、甲府盆地東部の峠東地域では国分寺（笛吹市一宮町）周辺に限られている。凸帯の断面をみると、北巨摩地域では三角形を呈しているのに対し、峠東地域ではかまぼこ形を呈しているという地域的な特徴を持つ。今回出土した壺を観察すると凸帯の断面はかまぼこ形をしており、峠東地域の特徴がみられることから、国分寺周辺から出土した壺と共通した何らかの目的をもつた遺物と考えることもできる。また、14号住居跡からは、底の外側に「□寺」と墨書きされた土器が出土した。墨書きされた字をみると、集落内に寺院の存在したことが考えられる。これらのことから、本遺跡が峠東地域の中核となる拠点集落の一つであった可能性が推測される。その他では、1号住居跡から残存状態のよいカマドが確認できた。カマドの中からは平安時代後期の壺や羽釜が出土したが、その中から4つ上下に重なるようにほぼ完全な形で出土した壺を確認することができた。壺と壺の間にあまり土が堆積していないので同時期に置かれた可能性が高く、また、下の方の壺にススが付着していることから、カマドが使用されていた時期に置かれたと考えられる。

土坑に関しては、調査区の中央に位置する5号土坑から轍の羽口を確認することができた。羽口の大きさは、内径約2.8cm、外径約8.7cm、長さ約12.6cmである。羽口の先端が熱の影響を受けて青灰色に変色していることから、この羽口は炉に近い部分のものと思われる。羽口の出土だけでこの場所に鍛冶工房があったと断言することはできないが、近隣にそのような施設があった可能性も考えられる。

川の流れた跡については、砂礫の間から土器や陶磁器が出土した。摩耗したものが多いため、川底と思われる箇所からは完形に近い形で出土したものもある。第2次調査と同様に遺物の数は非常に多く、川によって流されたものと思われる。

第3次調査の結果、9世紀後半から12世紀にかけて万力の地に集落が存在していたことがわかった。出土した遺物をみると、その集落は地域の拠点となる集落であった可能性があることも明らかになった。一方、第2次調査で確認した川の流れた跡も確認することができ、その中から古墳時代前期のS字状口縁台付壺等の破片が出土した。これらの遺物と第1次調査で発見された1万点近くに及ぶ古墳時代の土師器との関連性については、これから課題である。



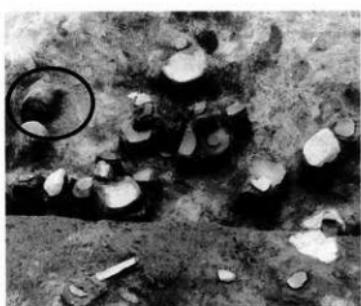
足原田遺跡 位置図



調査区（東側）全景



1号住居跡カマド出土状況



5号土坑羽口出土状況



川が流れたことを示す砾の堆積（調査区東側）



川の流れの中から出土した土器

# 1-8 滝沢遺跡

所在地 南都留郡富士河口湖町河口字滝沢  
事業名 国道137号河口2期バイパス建設事業  
調査期間 2005年5月11日～10月28日  
調査面積 3,060m<sup>2</sup>  
担当者 依田幸浩・正木季洋

滝沢遺跡は、富士山北麓にあたる御坂山地の御坂山・三ツ峠山の南麓で、河口湖北東部標高約840mの緩斜面に位置している。遺跡のある河口地区には、東海道と甲斐国の中継点を結ぶ官道が通っており、平安時代の法典である『延喜式』に記載された甲斐国三駅の1つ「河口駅」が置かれていたと推定されている。(官道には、都との連絡に使う馬を常に置いておくための「駅」と呼ばれる施設が設置されていた。)この官道は、平安時代には甲斐路または御坂路とも呼ばれ、鎌倉時代になると鎌倉街道と呼ばれるようになるが、当時の河口地区が中央政府と甲斐国の中心地をつなぐ交通の要地であったことは間違いない。

発掘調査時には、調査対象区域内を河川・道路が横断しているため、調査区を3つに分けて調査を行った。調査区は、南西側から北東側にかけて1区～3区とした。1区では、地表下約40～60cmの面から平安時代9世紀から10世紀頃の堅穴住居跡5軒と土坑3基を検出した。1区2号住居のカマド付近からは、「本人」(本は別の別字)と墨書きされた土師器の皿が出土した。カマドも意図的に破壊された痕跡が見られることから、カマドに関わる祭祀行為が行われた可能性が考えられる。平安時代の遺物は、土器片の他、刀子や紡錘車などの鉄製品が出土した。2区では、地表下約30～130cmの面から平安時代(1区とはほぼ同時期)の堅穴住居跡9軒と土坑2基、堅穴状造構1基、古墳時代の溝状造構1条を検出した。また、2区1号住居跡からは土製の鍤と漁労具として使用したと考えられる土鍤がまとめて出土しており、付近の川や河口湖などで漁をしていた様子が窺える。さらに、この住居跡からも「本人」と墨書きされた土師器の皿や壺が大量に出土した。1区2号住居跡と2区1号住居跡は、時期的にも、9世紀中頃から後半とはほぼ同時期であり、この時期に地域内で共通した祭祀が行われていたのかもしれない。古墳時代の溝状造構では、覆土の中から古墳時代前期の土器片が出土した。3区では、地表下約50～150cmの面から土坑を13基、ピットを2基検出した。1号土坑と9号土坑からは、炭化材と焼土を検出し、2号土坑と4号土坑からは土器片が出土したが、全体的に遺物出土量が少なく、土坑の時期や性格は不明である。

調査区全体では、平安時代の堅穴住居跡14軒、土坑5基、堅穴状造構1基、古墳時代の溝状造構1条、時期不明の土坑13基、ピット2基を検出した。特に、平安時代の堅穴住居跡などは、当時の官道沿いに広がっていた集落の一部であると考えられる。

また、調査区の各所で洪水による砂礫の堆積が見られ、1区の南西部や2区と3区の間からは、旧河道と考えられる砂礫の堆積を確認した。この砂礫層や遺物包含層から、縄文時代前期、弥生時代後期、古墳時代前期の土器片が出土しており、本遺跡より標高の高い南東側隣に該期の遺跡の存在が推定できる。

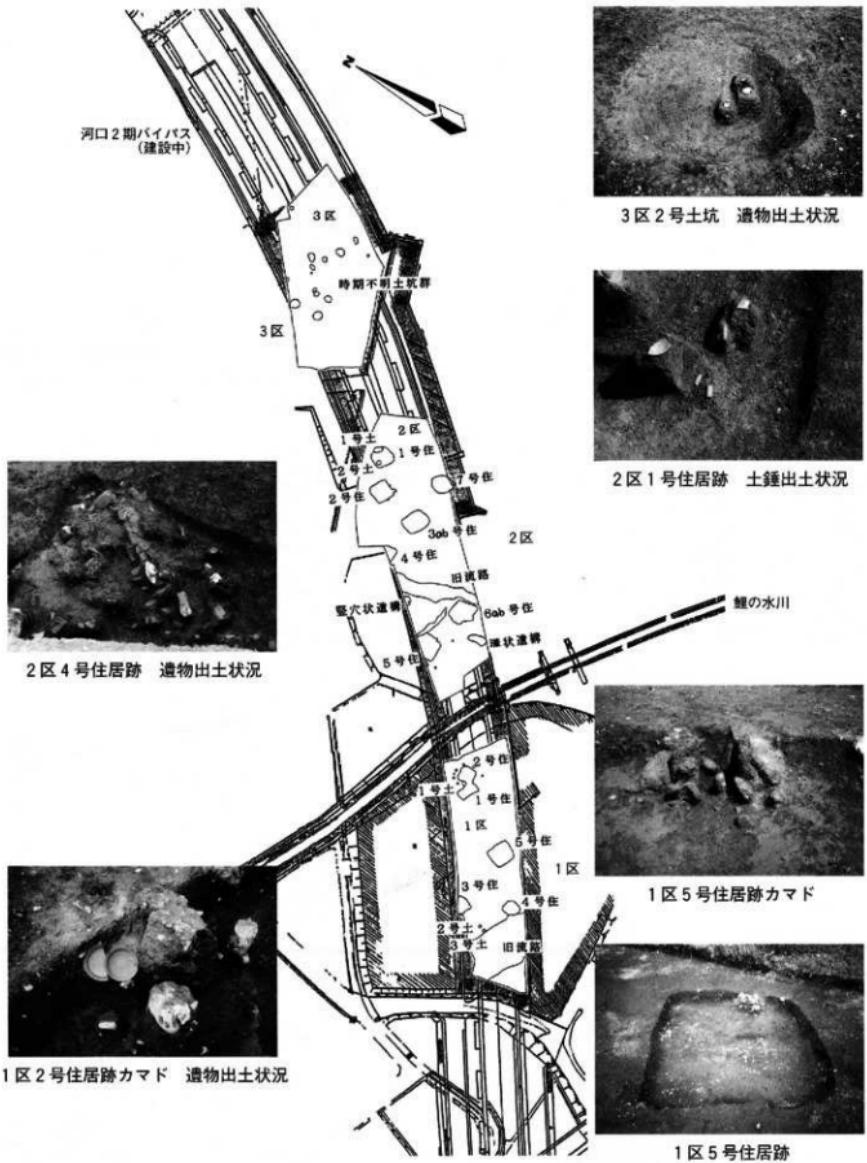
河口湖東岸における平安時代集落の発見は初めてであり、文献資料を裏付けるとともに、この地域の歴史を知る上で大変貴重な遺跡である。



滝沢遺跡 位置図



滝沢遺跡調査区全景



滝沢遺跡全体図 (S=1/1,000)

# 1-9 もばしいせき 庖橋遺跡

所在地 南都留郡富士河口湖町河口字庖橋  
事業名 国道137号河口2期バイパス建設事業  
調査期間 2005年7月27日～8月28日  
調査面積 100m<sup>2</sup>  
担当者 依田幸浩・正木季洋

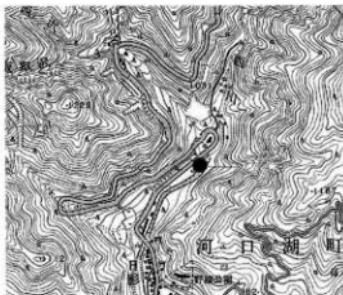
庖橋遺跡は、国道137号と西川に挟まれた山地の斜面部から西川沿いの緩斜面への転換部分に存在する。この地点は、河口2期バイパスの北側起点にあたり、標高約880mである。平成16年度と本年度に現地および周辺の試掘調査を行った結果、遺物を発見し、遺構の存在が推測されたため、本調査を実施した。

調査は、国道137号の南側で一部を盛土して平坦面となっている部分を重機で約50～100cm掘り下げ、さらに人力で約30～50cm掘り下げながら調査を行った。西川寄りの南側は、近年の大規模な盛土による平坦面であることが試掘調査により判明していたため、国道寄りの山地斜面に近い部分のみ調査を行った。重機で掘り下げた深度から下方にかけて、やや疊る混じる黒色土層が堆積しており、この中から、平安時代の土器片が出土した。黒色土層直下には、大量の砂礫が堆積しており、西川の旧河道であることが判明した。試掘調査で遺構の存在が推測された調査区北側部分は、砂礫に浸食されず、山地の斜面が残存しており、古墳時代前期、弥生時代後期、縄文時代晚期の各遺物包含層を検出した。この北側部分で調査区を拡張して精査を試みた結果、遺構は確認できなかったものの、前述の各時期の上器片が出土した。特に、弥生時代後期の土器は、河口湖方面において資料が乏しい状況にあり、貴重な発見となった。

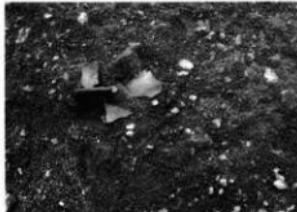
なお、本遺跡周辺からは、古墳時代前期（4世紀末～5世紀ごろ）の土器も発見されており、古代の道として、すでに4世紀代から甲府盆地と駿河地方を結ぶ重要な交通網が存在したことや、峠のふもとにおいての祭祀が行われた場の可能性もあり、本遺跡一帯は注目される場所である。



庖橋遺跡全体図 (S=1/100)



庖橋遺跡 位置図



弥生時代遺物出土状況



縄文時代遺物出土状況

## 1-10 四ノ側遺跡

所在地 都留市田原3-3-5

事業名 都留児童相談所建設事業

調査期間 平成17年5月17日～平成18年3月31日

調査面積 550m<sup>2</sup>

担当者 吉岡弘樹・與石逸子

四ノ側遺跡は山中湖・忍野八海を源を発する桂川の右岸、都留市田原の標高約510mに占地している。調査地点の北側に三ノ側遺跡（平安時代）、南方にはハツ沢遺跡・山ノ神遺跡（绳文時代）が周知されている。調査前の状況は南都留合同庁舎駐車場の一部となっていた。

発掘調査の結果、次のような基本層序が確認された。アスファルト舗装・碎石層の下、後世の盛土層が厚く30cmから数mにまで及んでいる。その下、淡茶褐色土層（15～50cm）、暗茶褐色土層（20cm）と続く。この下層の暗黄褐色土層（35cm）が遺構検出面となる。以下、薄黒褐色土層（20～30cm）、淡茶褐色土層（15～30cm）、黄褐色土層（25cm）、黄褐色砂質土層へと変化していく。

遺構の検出は、調査範囲のいたる所に擾乱、旧河道や土石流の痕跡などが多く住居跡2軒、土坑6基、溝状遺構1条にとどまった。

住居跡2軒は近接して検出されている。1号住居跡は南側の2/5ほどを土石流によって破壊されてしまっているが、一辺が約2.8mの規模と見て取ることができる。床面は平坦で北東側に竈を有する。出土遺物は竈周辺より灰、甕が出土している。また、住居覆土全体に多量の焼土粒子が混入されていることから焼失住居の可能性も拭いきれない。構築時期は竈周辺から出土した土器類から10世紀後半と推定される。2号住居跡は、一辺が約2.5mを呈する規模と推測できるが1号住居跡と同様に約1/2を土石流によって削平されてしまっている。床面は平坦で東と北方向に竈が検出されている。構築時期は1号住居跡と時期差があると思われるが現段階では同様の10世紀代としておきたい。

6基検出された土坑は幅0.7～1.2m、深土は0.1～0.4mを測る。いずれも、覆土中から遺物の出土がみられなかつたため、詳細な時期は不明であるが、検出された層序から平安期に構築されたものと推測される。

溝状遺構は調査区中央や西側を南北に横切っている。幅は約1.5mで断面形はV字状を呈している。遺物等の混入は全くなく人工的に開削されたものか自然の流路なのかは判断できないものである。

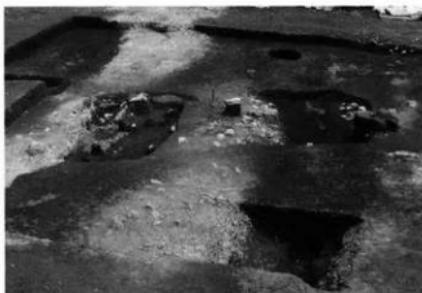
周辺部に存在する同時期の遺跡より検出されているデータに今回の出土資料が加わることで古代県東部地域のより詳細な研究材料や歴史解明資料となることは間違いないであろう。



四ノ側遺跡 位置図



調査区全景



第1・2号住居跡検出状況

## 1-11 甲府城下町遺跡

所在地 甲府市北口2丁目  
事業名 新しい学習拠点整備事業（仮称）整備事業  
調査期間 2005年8月1日～12月26日  
調査面積 3,100m<sup>2</sup>  
調査担当 吉岡弘樹・依田幸浩・奥石逸子



甲府城下町遺跡 位置図

甲府城下町遺跡は甲府市北口2丁目に所在し、甲府駅北口に近接している。調査地周辺は秩父山系から湧出し甲府市北部の山裾より甲府盆地に流下する相川によって形成された扇状地扇端部にある。調査地点は標高約280mの南緩傾斜地にあり、西方に相川、東方に藤原や標高約423mの愛宕山を見る位置に存在する。過去に当地点に近接して数カ所で発掘調査が実施されており、古墳時代以降の遺物等が数多く検出されている。また、中世の当該地は戦国期武田氏館跡城下町の一角を占め、江戸期以降、幕末期までは甲府城「山手御門」北側の山手小路・森下小路・橘小路に囲まれた位置にある武家屋敷地に相当する。ちなみに幕末期嘉永2年（1849年）の懐宝甲府絵図第一版（山梨県立図書館蔵）によると調査対象地には「鳥田」氏が居住していたとの記述がみられる。

発掘調査の結果、次のような基本層序が確認された。アスファルト舗装・碎石層の下、近世以降の堆積層が30～50cm確認されている。その下に18～19世紀の遺物を多く含む近世の堆積層、近世以前の堆積層が確認されている。また、それより下方には黄褐色を呈する自然堆積層が2m以上の厚さで検出された。

遺構の検出は、調査範囲のいたる所に後世の建物基礎、上・下水施設等による搅乱が存在したが、井戸8基、溝状遺構28条、土坑17基、埋桶3基などが検出された。

井戸は素掘りタイプが4基検出され内2基は井戸桶を有するものであった。残り4基は内面に石積みを伴うものであった。

溝状遺構については、そのほとんどが甲府城下町の街路区画に平行または直交するもので、現在のところ塀や生垣等とセットで屋敷等の区画とされていたと推測している。

土坑は、各所から検出されたが直径2m以上の形状を呈するものが目立つ。そのほとんどの用途は不明であるが、中世～戦国期の墓坑の可能性が高いものが2基含まれている。



調査区西側部分の遺構検出状況

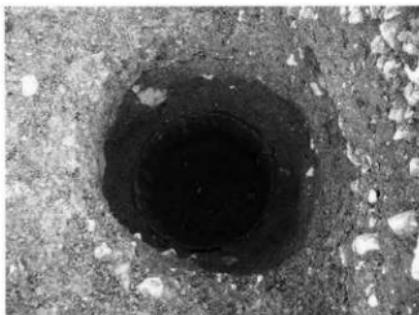
埋桶については大型のものであれば便槽造構とも想定できようが、今回検出されたものは、いずれも、小型であり、その用途は不明である。

また、遺物の検出は中世から近世、近代までの上部質土器（かわらけ）、陶磁器など様々である。

今回の調査は2箇年計画の1年目であるが上記のような成果が得られたことは、広大な甲府城下町遺跡の一端を探る上で欠くことのできない歴史資料となることは間違いないであろう。



井戸検出状況 その1



井戸検出状況 その2



調査風景



溝状遺構検出状況



土坑検出状況 その1



土坑検出状況 その2

## 2 整備事業に伴う調査

### 2-1 国指定史跡銚子塚古墳附丸山塚古墳

所在地 甲府市下曾根町字山本外

事業名 保存修理事業

整備期間 2005年10月3日～2006年2月28日

整備面積 5071m<sup>2</sup>

担当者 村石真澄



銚子塚古墳 位置図

史跡銚子塚古墳附丸山塚古墳の指定対象地36,120m<sup>2</sup>のうち、29,390m<sup>2</sup>については、すでに昭和58～62年度にかけて第1次保存整備が行われ史跡公園として活用されている。今回の平成17年度の保存整備事業は、その後の平成9～15年度に公有地化した5,071.26m<sup>2</sup>について、平成13・16年度の発掘調査の成果をもとに、整備を行ったものである。これにより、課題であった銚子塚古墳を全周して見学することができるようになった。

整備事業の経費は、文化庁から平成17年度国宝重要文化財等保存整備費補助金を受け、国庫補助と山梨県費との折半で負担した。整備事業にあたっては、実施設計を山梨県教育委員会と山梨県土木部東地域振興局石和建設部が共同で行い、監理を東地域振興局石和建設部が行った。監督は、石和建設部の担当者と、埋蔵文化財センターの担当者が行った。また、文化庁小野健吉主任文化財調査官からの指導を受け、大塚初重氏（明治大学名誉教授）、谷口一夫氏（県文化財審議会史跡部会長）、田畠貞寿氏（造園学専門家）の3名の専門家から現地での指導助言を受けた。

平成17年度の保存整備の基本方針は、昭和58～62年度に実施した第1次保存整備に準じた。とくに墳丘・周溝は前回整備の部分と隣接するため、違和感がないように留意した。さらに、第1次整備と同様に古墳周辺の環境を整え、史跡に隣接する住宅地への荒天時の出水による被害を防止するように配慮した。

墳丘は、平成13・16年度調査で確認した墳丘端ラインで復元を行った。西側は、墳丘裾を掘り込んで巡っていた波板鋼鉄製の水路を除去し、整備前の墳丘端から最大で約4mほど墳丘端ラインを西側に拡張して復元した。盛土の表層部は床土を入れ、野芝を貼った。

突出部は、平成16年度の発掘調査により、東日本では初めて発見したものである。確認した実際の突出部は周溝の底面に向かって傾斜をもつて構築されていたが、整備では周溝の上面に大礫を配置して表現した。実際に使われていた礫の最大径に近い大礫を主に用いることで、大礫の重量で安定させコンクリートなどで固定しない方法とした。今後の維持管理で懸念された除草も、周溝部と同様に行えるように配慮した。

周溝は、南側を除き周溝の外側が、ほぼ宅地となっているため、荒天時の出水の被害を軽減するように配慮した。碎石を厚めに敷き転圧、その上に玉砂利を敷き均し、保水性を高めて出水を一旦蓄えるように設計した。また、周溝内に溜まった水を排水するために周溝中央にU字溝を設置した。

周溝外は、周溝基底の推定線上に線石を配置し、周溝の外縁を表示した。外縁から外側は、盛土を行い、さらに床土を入れ、野芝を貼った。とくに後円部北側は、厚く盛土を行い周溝に向かって下り勾配の斜面とした。荒天時の出水が周溝内に帶水し、隣接する宅地を直接的に脅かさないように計画したためである。さらに、史跡境界部にU字溝を設置した。北西部分は、公有化計画地に隣接するため暫定的な措置として、盛土の土留めとしてフトンカゴを設置した。前方部北東部は、北側の宅地を出水が直撃しないよう、北側に厚く盛土を行い南向きの斜面とした。平成16年の発掘調査において周堤である可能性をもつ高まりを確認しており、西側に隣接する774番地の発掘調査でさらに検討した上で本格的な保存修理を行う予定である。後円部南西部では、急斜面を緩和して法面を整形した。西側の南端部の境界部は粗積みの石垣であり、盛土整形には強度が不足するためコンクリート擁壁を設置した。また第1次での整備箇所に準じて、小段を設けた。

史跡境界部へは、樹高約180cmのサザンカの生垣を植栽した。また、後円部南側の市道との境界部は、史跡境界を示すことと歩行者の転落を防止する効果を兼ねて樹高約60cmドウダンツツジを密に植えた生垣とした。また周溝の外側の立ち上がりを表現するために、樹高約50cmのサツキを植えた。



平成17年度整備完了直後の銚子塚古墳

## 2-2 県指定史跡甲府城跡

所在地 甲府市丸の内1-6-1

事業名 舞鶴城公園整備事業

調査期間 2005年4月1日～3月31日

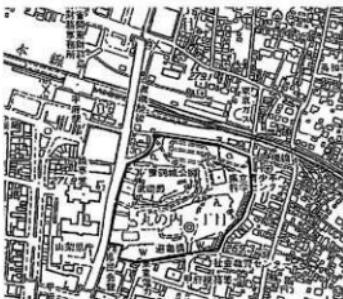
担当者 宮里学・上原健弥

県指定史跡甲府城跡では、県土木部が「舞鶴城公園整備事業」として平成2年度から園路・広場・電気・給排水・便益施設等の整備や、鍛冶曲輪門・稻荷門・内松陰門・稻荷橋の復元に連動した発掘調査・石垣改修工事を実施している。

本年度は、5月から鍛冶曲輪西側一帯の園路舗装付け替え工事と休息施設（ベンチ）の設置がおこなわれ、工事に伴う立会を実施した。12月以降には、甲府城跡北側の石垣に隣接する甲府市道の切り回し工事が実施された。工事地点は築城期の野面積みが隣接する内堀跡であることから、掘削時に立会を実施した。また、工事範囲内に3ヶ所の試掘坑を設定し、内堀跡の調査を実施した。試掘坑からは多くの瓦が出土したほか、堀底面が良好に残存していた。2月から3月には、稻荷門南側斜面の土留め工事がおこなわれ、工事に伴う立会を実施した。

本年度の石垣修繕工事は、これまでの整備事業のなかで石垣が比較的安定していたことから解体・積み直しを伴う改修をおこなっていない石垣のうち、石垣の状態や公園利用の観点等から整備の必要性が高い天守台石垣の東面を対象に実施したものである。天守台石垣は、築城期の野面積み石垣で築城以来改修が実施されておらず、城内で現存する最も古い石垣の一つである。しかし、明治以降メインテナンスがおこなわれていないため、詰石の欠落・石材の破損・孕みといった傷みが生じていた。今回の工事は、文化財の保存と公園の安全性の確保を目的として、県土木部と教育委員会が協力しておこなったもので、詰石や裏栗石の補充を中心とした維持・管理を実施し石垣の補強と保存に努めた。

修繕工事に先だつ調査では、傷みの状態とその原因、施工方法等をカードに記入し、写真撮影と併せて現状の記録とした。調査の結果、施工対象地点は546ヶ所にも上り、施工面積392m<sup>2</sup>に対する面積比から0.71m<sup>2</sup>につき1ヶ所であった。施工地点数は、天端から下方に向かって増加し、各施工ヶ所の面積も広がる傾向が明らかとなった。この面積の拡大は、石垣の中段以下で比較的大きな石材が築石に利用される結果、詰石が埋める目地が拡大するためと判断できる。また、隅角部では石材の破断など特に激しい傷みが確認されたが、石垣の構造上大きな負荷が加わる部位であるためである。施工地点の傷みには、詰石の欠落・破損・縫み、石垣石材の破損・風化など様々であるが、詰石の欠落が全体の68%と一番多く、結果として施工方法も詰石の補充が一番多くなった。



甲府城跡 位置図



施工前（天守台東面石垣）



施工後



施工前の事前点検



技術者による補強工法の現地検討



人力による詰石作業



重機を用いた施工



落下直前の詰石



落下直前の表層剥離



施工前



施工後の詰石補充

### 3 分布調査

#### やまなしけんないちょうせいじいんぶんぶちょうさ 山梨県内中世寺院分布調査

##### 3-1 楽音寺

所在地 笛吹市一宮町塙田944番地外

遺跡名 楽音寺

調査期間 2005年11月18日

調査面積 160m<sup>2</sup>

楽音寺は、金川が形成した扇状地上に位置する。本寺は、推古2年（594年）に行基が創建したとの伝承があり、こうした伝承の確認と、中世の寺院構造がどのようなものであるのかを確認する目的で試掘調査を行った。

調査は、現本堂の前面に残る前本堂の礎石間にトレント2本を設定し、掘り下げをおこなった。しかし今回の調査では、中世段階の明確な遺構を確認することはできず、また伝承を裏付ける痕跡は認められなかった。



楽音寺 位置図

##### 3-2 聖応寺

所在地 笛吹市境川町大黒坂1103番地外

遺跡名 聖応寺

調査期間 2005年11月21日～12月9日

調査面積 820m<sup>2</sup>

聖応寺は、甲府盆地南側の、春日山からのびる尾根の西面に立地する。本寺は、臨済宗向嶽寺派の中本山として、康暦元年（1379年）に創建された。甲斐の臨済宗の拠点の一つとして、どのような寺院構造であるか等、基礎データを集積する目的で試掘調査をおこなった。調査は、開山堂・旧本堂・礎石建物跡の3地点でおこなった。

開山堂は、石垣や雨落ちが残存するものの、建物部分は攢乱が著しく、遺構を明確にすることはできなかった。だが、建物をのせる石垣の構造から、中世段階にさかのぼると推測される。

旧本堂は、10×8間であったという記録が残る。トレント2本を設定し、掘り下げをおこなったところ、礎石の根石列を確認し、建物跡の東西規模が8間であったことを確認した。また16世紀代の陶器片が出土した。

礎石建物跡は、2×4間の礎石が確認された。礎石間にには10センチ程度の漆喰板が認められ、また礎石で囲まれた区画内にも漆喰が敷き詰められていた。出土遺物は見られず、建物の所在した年代は現在明確ではないが、漆喰を用いた建物の類例と併せて調査中である。



聖応寺 位置図

##### 3-3 円楽寺行者堂跡・六角堂跡

所在地 甲府市右左口町岩窪地内

遺跡名 円楽寺行者堂跡・六角堂跡

調査期間 2005年12月12日～26日、2006年2月13日～24日

調査面積 950m<sup>2</sup>

行者堂跡・六角堂跡は、円楽寺の旧境内地であり、寺の前面に



円楽寺行者堂跡・六角堂跡 位置図

そびえる日陰山尾根上に立地する。円楽寺は役行者によって開かれたとの伝承が残り、富士登山道の起点である。

調査は、行者堂跡・六角堂跡および麓に所在する「坊寺」の地名がのこる地点をおこなった。

行者堂は東西4.5間、南北4間の総礎石建物跡である。礎石の下層では柱穴が検出され、総礎石建物跡の前段階には同様の規模の掘立柱建物跡が所在したことを確認した。またトレンチを設定して掘り下げをおこない、柱穴と同じ層位で12世紀後半代の陶器片が出土した。

六角堂跡は外周には雨落ち、内部には礎石が配される。中央部には宝篋印塔が所在し、基礎部分南側面には直径10センチ程度の穿孔が認められる。また六角堂跡の東・南・北側では、基壇を確認した。基壇は、人頭大前後の礎を階段状に配する。さらに六角堂跡西側には、宝篋印塔・五輪塔等、石塔群が所在する。これらの石塔には、銘文が見られるものがあり、南側に位置する1号石塔側面には、「天文十六年」(1547) の紀年名が認められた。

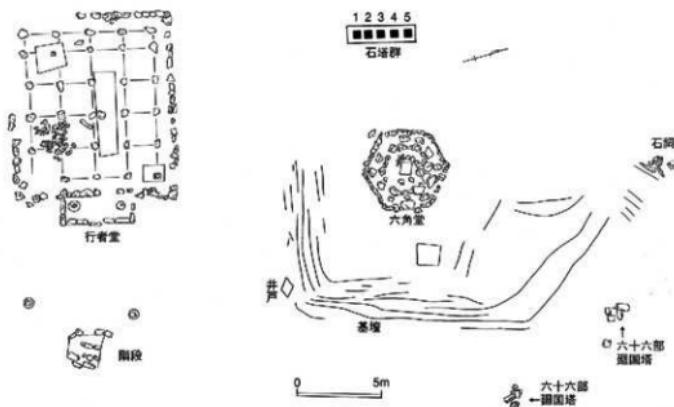
坊寺は、円楽寺の宿坊等を確認するためにトレンチ調査を行った。トレンチ10本を設定し、掘り下げをおこなったところ、中世の陶器片や砥石などが出土したが、明確な遺構を確認することはできなかった。



楽音寺調査風景



聖心寺礎石建物跡



円楽寺旧境内地平面図

## 4 県内分布調査

### 4-1 防衛施設周辺道路整備改築事業に伴う試掘調査 (笹見原遺跡)

所在地 南都留郡忍野村忍草地内  
遺跡名 笹見原遺跡  
調査期間 2005年5月10日～12日  
調査面積 134m<sup>2</sup> (調査対象面積1,493m<sup>2</sup>)  
担当者 山本茂樹・小林孝子



試掘調査 位置図

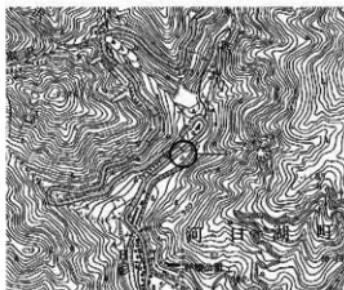
計画道路は、周知の埋蔵文化財包蔵地の笹見原遺跡に近接していることから、遺跡の範囲確認を実施することになった。試掘調査区は二箇所に分かれており、南側と北側にそれぞれ試掘溝を設定し、重機による掘削を行った後、人力による調査を実施した。

北側の調査区では、3本の試掘溝を設定した。1号試掘溝では、笹見原遺跡の集落を形成する台地の縁辺部と思われる層位が確認され、同時期の土師器の壺や坏、須恵器片が出土すると併に、馬の歯も確認された。2号、3号試掘溝では、表下150cmで出水し遺構や遺物は確認されなかった。

南側の調査区では、4本の試掘溝を設定した。4号試掘溝では深さ50cm～100cm、5号試掘溝では深さ500cmまで、6号・7号についても掘削を行ったが遺構や遺物は確認されなかった。その結果、北側の調査区では馬の歯が確認されたことから、水辺で祭祀が行われたことが想定されるため調査を実施する必要があり、笹見原遺跡から継続する遺跡であると判断される。南側の調査区については、遺跡の存在はないものと思われる。

### 4-2 河口2期バイパス建設事業に伴う試掘調査 (庖橋遺跡)

所在地 富士河口湖町河口1345ほか  
遺跡名 庖橋遺跡  
調査期間 2005年6月1日～7日(5日間)  
調査面積 150m<sup>2</sup> (調査対象面積1,500m<sup>2</sup>)  
担当者 山本茂樹・小林孝子・上野 桜



試掘調査 位置図

国道137号線沿いでは、重機による試掘溝の掘削後、人力により遺構の平面及び断面観察を行った。また、対岸でも同様に重機による掘削後、人力により遺構の平面及び断面観察を行った。

国道137号線に接する1345番地では、遺構等の保存状況の良いと思われる箇所に試掘溝を設定した。その結果、北東側では古墳時代の遺物を含んだ黒色土層が存在しており、土層断面から遺構も確認された。

1346番地では、隣接した1345番地で確認された黒色土層が存在しておらず、深く搅乱された砾層が認められたため、遺構は存在していないものと判断した。

西川を挟んだ対岸では、鎌倉往還の存在が絵図によって知られているために、山の斜面から平坦地にかけて12本の試掘溝を設定し調査を実施したが、遺構・遺物は確認されなかった。調査の結果、1345番地では100m<sup>2</sup>の本調査を必要とするが、それ以外の場所については工事着手しても問題はないものと思われる。

#### 4-3 西桂警察官駐在所建設事業に伴う試掘調査

所在地 南都留郡西桂町小沼1592

調査期間 2005年7月6日

調査面積 26m<sup>2</sup> (調査対象面積367m<sup>2</sup>)

担当者 村石真澄・代永智恵・上野桜・芦澤昌弘

建設工事設計の掘削深度は現地表下50cmであるが、遺跡有無確認のために試掘調査を実施した。

幅1m、深さ50cmの試掘溝を5本設定し、平面および断面観察を行った。また、建物範囲外の4号試掘溝では、予定掘削深度よりもさらに下の遺構を確認するために100cmまで掘削し、平面および断面観察を実施した。

4号試掘溝の北端部では、小蝶・大蝶の集中を確認した。浸透式の暗渠排水施設のものと考えられる。時期は、蝶に混ざってガラス製のおはじきやビー玉が出土したことから、近代以降のものと判断した。

また、各試掘溝では現地表から10cmまでは碎石が敷かれており、その下には厚さ20~40cmの小赤褐色バミス・小亞円蝶・中亞円蝶混じり暗褐色土層ないし黒褐色土層が堆積しており、遺構・遺物は確認できなかった。

そのため、試掘調査を行った範囲内については、埋蔵文化財は確認できなかったため工事を行っても影響はない」と判断される。

#### 4-4 宝相生統合交番建設事業に伴う試掘調査

所在地 甲府市宝二丁目26-11

調査期間 2005年7月25日

調査面積 38.2m<sup>2</sup> (調査対象面積351m<sup>2</sup>)

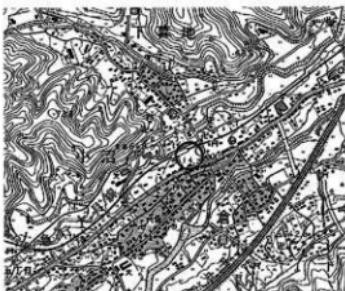
担当者 村石真澄・代永智恵・上野桜・芦澤昌弘

建設工事設計によると、最大掘削深度60cmに達する構造物の箇所で試掘調査を実施し、試掘溝を4本設定した。

試掘溝は重機による掘削を行い、その後人力による平面および断面観察を実施した。また、本体建物への影響が少ない範囲外に4号試掘溝を設定し、表土から100cmまで掘削を行い埋蔵文化財の確認調査を実施した。

1~3号試掘溝では深さは60cmまで確認した。これらの上部は区画整理により改変を受けていた。土層堆積状況は、主に洪水による堆積物で構成されるが、焼土粒子を混入するなど人為的な影響も受けていた。

4号試掘溝の北では、レンガで構築された施設が確認され周囲には焼土や灰が多く散布しており、明治時代以前の銅版刷の磁器片やガラス片が出土した。溝の中央付近では、地表下60cm(3層上面)の部分で強く硬化した生活面が認められ、地表下1mからは東西方向に並行する直径11cmの丸太が2本確認された。また試掘溝の南側では、近代に属する銅版刷の磁器なども見つかったが、江戸時代に属する「くらわんか碗」や灯明皿なども一緒に出土した。その結果、2本の並行する丸太などの木製品や磁器、ガラスなどは近代の製品であり、4号試掘溝の下層では江戸時代の磁器などが見つかっていることから、近世から近代の遺構や遺物が存在しているものと思われる。



試掘調査 位置図



試掘調査 位置図

#### 4-5 塩山バイパス建設事業に伴う試掘調査（北田中遺跡）

所在地 甲州市勝沼町北田中429-1 ほか

遺跡名 北田中遺跡

調査期間 2005年9月8日、10月20日～21日

調査面積 111m<sup>2</sup>（調査対象面積900m<sup>2</sup>）

担当者 山本茂樹・芦澤昌弘



試掘調査 位置図

試掘調査の範囲は、国道411号線に沿ったほぼ三角形の場所である。南側では、長さ約9m×1.5mの1号試掘溝を、北側では約9m×7mの2号試掘溝を、中央部分では5m×6mの3号試掘溝を設定し、重機による掘削後、人力による精査を行った。

1号試掘溝では、表土下約100cmで古墳時代中期から後期にかけての土器片が採取され、土層断面を観察するために更に約20cm掘削を行った。そして平面及び土層断面の精査を行ったところ、住居跡を確認した。住居跡の床面までの深さは、約80cmであった。

2号試掘溝では、砂礫層が現地表から約350cmまで堆積していた。3号試掘溝は、約150cmの盛土がすでに行われており、現地表から約370cmまで重機による掘削を行ったが、遺構・遺物は確認されなかった。このような結果から、2号および3号試掘溝の場所は旧重川の河道と考えられる。よって1号試掘溝周辺、特に東西方向に遺跡が広がっていることが予想される。

#### 4-6 西関東連絡道路建設事業に伴う試掘調査（武家遺跡）

所在地 山梨市上岩下字小金田312-1 ほか

遺跡名 武家遺跡

調査期間 2005年10月13日

調査面積 24.2m<sup>2</sup>（調査対象面積1,023m<sup>2</sup>）

担当者 山本茂樹・芦澤昌弘



試掘調査 位置図

土地の形状に合わせて試掘溝を4本設定し、重機による掘削後、人力により平面確認及び断面観察を行った。また、未取得地である箇所については、取得されている土地の近接した箇所で遺跡有無の確認調査を実施した。

武家遺跡内に設定した1号試掘溝では、表土から90cmまで掘削したところ4層上面から出土したが、一部さらに掘削し堆土から遺物の確認も行った。その結果、遺構及び遺物は確認されず、武家遺跡の縁辺部であったことが明らかにされた。また、2～4号試掘溝については、今までに試掘調査を実施してきた内容を補うために設定したものである。幅を1m深さは110～150cmまでを重機により掘削を行ったが、3号試掘溝から1点古墳時代の土器片が認められたが、堆積状況から流れ込んできた遺物と考えられ、遺構は確認されなかった。

#### 4-7 県立中央病院事業による道路付替・敷地内整備事業に伴う試掘・立会調査（富士見一丁目遺跡）

所在地 甲府市富士見一丁目1220-15ほか

遺跡名 富士見一丁目遺跡

調査期間 2005年11月9日 試掘調査、11月28日 立会調査

調査面積 45m<sup>2</sup>（調査対象面積1,688m<sup>2</sup>）

担当者 山本茂樹・芦澤昌弘

調査地点は富士見一丁目遺跡内のため、道路に並行して試掘溝を3本設定し、遺構・遺物の有無確認を行った。

1号試掘溝では、表上から約250cmまで掘削を行ったが、河川堆積物による砂と疊が認められ発掘調査対象となる中世以前の遺構面は確認されなかった。2号試掘溝については、1号試掘溝と同様の状況が確認された。3号試掘溝では、表土下約120cmで黒色の粘土層が存在しており、埋蔵文化財である水田を区画する畦状の高まりが3箇所確認された。高まりとの間隔は70cm前後である。平成10年度に県立中央病院敷地内で発掘調査が実施され、古墳時代の水田面は表土下約170cmに存在していた。このことから、今回確認された水田面とはほぼ同一の高さにあると思われる。

このような結果から、本遺跡の広がりは、北西から南東方向に傾斜を保ちながら広がっていることが明らかとなつたが、県教育委員会埋蔵文化財事務取扱要項により、水田遺構の場合一部の遺構から全体が推定できる場合については発掘調査を要しない、と定められていることから、本調査を実施する必要はないものと思われる。

なお、立会調査については、以前建物が建てられていたことと、工事掘削深度が50cmであることから遺構は確認されなかつた。



試掘調査 位置図

#### 4-8 県立大学実習棟建設事業に伴う試掘調査

所在地 甲府市池田一丁目県立大学校内

調査期間 2005年11月15日～16日

調査面積 72m<sup>2</sup>（調査対象面積1,000m<sup>2</sup>）

担当者 山本茂樹・芦澤昌弘

調査地点は、県立大学校内のグランドに実習棟を建設するもので、試掘溝を東西方向に4本設定した。1号試掘溝は長さ4m×幅2m×深さ約2.20mまで、2号試掘溝は長さ20m×幅2m×深さ約1.70mまで、3号及び4号試掘溝は長さ6m×幅2m×深さ約2.50mまでそれぞれ重機により掘削限界まで実施した。

試掘調査を行った結果、2号試掘溝から明治以降の磁器が見つかったことから、少なくとも現地表から約1.50mの層までの間に中世以降の遺構の存在はないものと思われる。土層堆積状況は、各試掘溝の状態から度重なる荒川の氾濫があったことが想像される。

当初、地下に埋もれている集落跡や集落に伴う遺構の存在、河川に近接する場所であることから堤防遺跡の存在が想定された。今回の試掘調査では重機掘削の限界や安全面から表土下約2.20mから約2.50mまでの掘削を実施したが、結果的に、掘削限界の範囲内では遺跡は確認されなかつた。よって、遺跡確認のために実施した掘削深度内では埋蔵文化財は確認されなかつたので、工事着手しても支障のない旨を報告した。



試掘調査 位置図

#### 4-9 西関東連絡道路建設事業に伴う試掘調査（延命寺遺跡）

所在地 山梨市落合字延命寺180ほか  
遺跡名 延命寺遺跡  
調査期間 2005年11月21日～22日、24日・12月21日～22日  
調査面積 510m<sup>2</sup>（調査対象面積3,480m<sup>2</sup>）  
担当者 山本茂樹・芦澤昌弘



試掘調査 位置図

11月21、22、24日の間に、土地の形状に合わせて1～6号までの試掘溝を設定した。重機による掘削後、人力により平面及び断面確認を行った。この試掘調査により遺構が確認されたため、事業主体者から早急に工事用道路を敷設するため、12月21日に道路敷地内に7号試掘溝を設定し遺構の有無確認を実施することとなった。

1～3号試掘溝では、擾乱を受けた箇所もあり、土層の堆積は一様ではないものの、どの試掘溝でも最下層では礫層が確認され、河川の氾濫によるものと思われる。4号溝では、上層は擾乱を受けており河川のすぐ脇でもあったことから、下層では礫層が堆積していた。1～4号までは、遺構及び遺物は確認されなかった。

5号試掘溝では、掘削した西側で表土から約150cmの深さから古墳時代の土器片が見つかったことにより、平面による遺構確認を実施したところ、住居跡が確認された。

6号試掘溝は、以前が建っていた基礎などがあり上層は擾乱され、下層では礫層が認められた。

7号試掘溝では、5号試掘溝と重複する範囲に住居跡3軒、溝状遺構1条が確認され、遺物は現状のままで埋め戻しを行った。このような結果から、12月26日（月）に事業主体者と学術文化財課を交え工事用道路の敷設についての協議と、今後の埋蔵文化財保護のための本調査実施について協議を行った。

#### 4-10 県立北病院援護寮建設事業に伴う試掘調査

所在地 蕨崎市旭町上条南割外御勅使3314-13  
調査期間 2005年12月27日  
調査面積 46.3m<sup>2</sup>（調査対象面積450m<sup>2</sup>）  
担当者 山本茂樹



試掘調査 位置図

建設予定地内の450m<sup>2</sup>に試掘溝をほぼ南北方向に2本設定した。重機による掘削後、人力による平面及び断面観察による遺構確認作業を行った。

1号試掘溝は、2mの幅で延長10m、深さ190cmまで掘削を実施した。表土下90cmまでは現在の表土で礫が混在する埋土である。この埋土の下面から100cm以下までは礫層の中に砂が堆積する河川堆積を呈していた。

2号試掘溝では、2.50mの幅で延長10.5m、深さ205cmまで掘削を行ったが、1号試掘溝とはやや異なってはあるものの、河川堆積による層状を呈していた。

結果として、214cmまでという建設計画の制約からくる掘削深度の中では堤防跡は確認されず、遺物も確認することはできなかった。

以上のことから、遺跡確認調査を実施した範囲内では事業予定地内において遺構や遺物は確認されなかつたので、事業計画どおり実施しても影響はないものと思われる。

#### 4-11 河口2期バイパス建設事業に伴う試掘調査（谷抜遺跡）

所在地 富士河口湖町河口字谷抜119番地先

遺跡名 谷抜遺跡

調査期間 2006年1月17日～2月6日（10日間）

調査面積 385.9m<sup>2</sup>（調査対象面積5,000m<sup>2</sup>）

担当者 山本茂樹

調査区内に16本の試掘溝を設定し、掘削順に番号を付した。また、調査は人力による掘削と重機による掘削を行い、その後、人力による平面及び断面確認を行った。

試掘溝のNo 1～No 5、No 8、9では、ほぼ6m×6mの枠掘りと、幅約2mの溝を設定した。No 1では、最大深度135cmまで掘削したところ、北から南に傾斜した土層の堆積が認められた。No 2も同様に北から南への傾斜が認められ、4層（黒褐色土：表土から50cm前後）の下面から縄文時代早期の遺物が出土した。また、径約1mの土坑が確認され掘り下げたところ、深さは26cm前後であり、土坑の中の土は、縄文時代の遺物が確認された黒褐色土であった。No 2の南西隅では、焼土が確認されたが、表土から25cmと浅く遺物の出土もないため時期は不明である。この焼土は、試掘溝の範囲外にも広がっている。出土した縄文土器片は、No 1、2を中心に周辺の試掘溝で確認され、表土から30cm前後では土師器片が出土している。

No 3では、表土から約1mに周辺では認められなかった大型の疊が中央西側に存在しており、遺構の可能性が高いと判断したため確認された状態で埋め戻しを実施した。No 5では、平面で確認したところ黒褐色土が東西方に向に溝状を成し、この確認面までの間で上層には土師器片が、下層では縄文時代早期及び早期から前期初頭の土器片が出土した。No 8では、表土下130cmまで掘削を行ったところ、深さ約40cmから土師器片や中世の所産と思われる遺物が出土した。No 10では、表土下30cmで30cm×40cmの長方形の穴が13本確認され1本を掘削したところ、深さは16cmであった。周辺からは、中世ないし中世以降の遺物が確認されているので、その時期の遺構と考えられる。

No 6、7の寺川近接地及びNo 11～No 16の山林については、遺物及び遺構は確認されなかつことから、本調査を必要とする範囲は、No 6、7試掘溝の東からNo 10試掘溝の山根までの間である。



試掘調査 位置図

4-12 鍬沢河岸跡公園水辺プラザ建設事業に伴う試掘調査  
(鍬沢河岸跡)

所在地 南巨摩郡鍬沢町明神白子地先

遺跡名 鍬沢河岸跡

調査期間 2006年2月13~3月8日(15日間)

調査面積 約800m<sup>2</sup>

担当者 山本茂樹

重機による掘削と人力による平面及び断面観察を行った後、危険防止のためその日の内に埋め戻しを実施した。



試掘調査 位置図

試掘調査は、周知の埋蔵文化財包蔵地である鍬沢河岸跡の遺構有無確認調査が主であり、調査を行うため試掘溝を合計10本設定した。

1 試掘溝から6試掘溝については、遺構および遺物は確認されなかった。

7 試掘溝では、明治時代より新しいと思われる水田跡が確認され、深さは現地表から146cmである。

8 西試掘溝では、礫層の上に3.20mの幅で粘土が敷かれていた。この施設は道と考えられ、北西から南東方向に延びていた。確認面までの深さは、約100cmである。このことから8東試掘溝を設定したところ、8西試掘溝で確認された道に直行するような方向で道が確認された。最下層は礫層で、その上に砂層が20cmの厚さで堆積し、その上には氾濫による小砂利層が3cm堆積し、その上面から5cmまで灰色の粘土が突き固められたように堅く締まった層が存在していた。道の幅は、約110cmである。確認面までの深さは約180cmで、道の片側に石列が伴い道を補強するために設置されたものとも考えられる。

9 試掘溝では、北西から南東方向に延びる石列と粘土敷きが認められた。この方向は、8東試掘溝の道に直行するものと思われる。また、同様に石列の施設が認められた。粘土敷きは搅乱を受けているため幅は不明である。石の規模は、約30cm×約15cmである。確認面までの深さは、現地表から約100cmである。

10 西試掘溝では、現地表から約290cmの深さで道と思われる粘土敷きの遺構が確認された。この遺構は、北西から南東方向に延びていることから、9試掘溝の道に続くものと思われるが、石列の構造からすると9試掘溝では、北を向いたとき石列は道の左側に設置され、10西試掘溝では右側に石列が設置され異なっている。

10東試掘溝では、8東試掘溝で確認された道の一部が確認される可能性があるため設定した。結果として、粘土敷きが広い範囲で確認され、今まで確認された道の幅よりも広い平坦面を有していたことから、建物が建てられていた可能性もある。確認面は、現地表から約300cmで、上層は搅乱されていた。

以上のことから、道と思われる遺構及び建物が建てられていた可能性もある粘土敷きの平坦面は、遺物の出土がなかったため時代を特定することはできないが、試掘調査地全体の堆積状況の検討から明治時代の遺構と判断される。

以上の結果から、現地表から浅い場所では約100cm、深い所では約290cmで道や建物が建てられていたと思われる遺構が確認され、8試掘溝周辺から10試掘溝までの範囲内に鍬沢河岸跡を形成した遺構の存在が認められた。よって、山梨県教育委員会埋蔵文化財事務取扱要項第3条(2)、(3)により、建設事業が実施される際には、埋蔵文化財の保護措置のための協議を必要とする。

4-13 甲府地方裁判所仮設庁舎建設事業に伴う立会調査  
(甲府城下町遺跡)

所在地 甲府市中央一丁目10-7

遺跡名 甲府城下町遺跡

調査期間 2005年9月29日

調査面積 30m<sup>2</sup>

担当者 山本茂樹・芦澤昌弘

平成14年6月に庁舎改築事業に先立って試掘調査が実施された。その結果、現地表下約70cmで江戸時代の生活面が確認され、陶磁器なども見つかっている。

水槽タンク設置のため現地表から140cmの掘削を伴うため、重機による掘削を行いながら立合いを行った。その結果、表土下70cmでは遺構は確認されず、陶磁器などの製品も確認されなかった。その後、表上下100cm以上の掘削を行ったところ、径10cmの丸太杭が2本1組となって2箇所で確認された。間隔は約190cmを計測し、建物の基礎が想定されるが、その性格は不明で、時代を特定する製品も見つからなかったが、今後、敷地内及び周辺の開発事業においては、遺跡有無確認のための試掘調査を実施していく必要がある。



立会調査 位置図

4-14 県庁舎集中化改修電気設備工事に伴う立会調査  
(甲府城跡)

所在地 甲府市丸の内1-6-1

遺跡名 甲府城跡

調査期間 2005年10月3日、10月28日～11月11日、12月1日

調査面積 110m<sup>2</sup>

担当者 宮里学・上原健弥

警察車庫の南側で管の埋設工事に伴う掘削がおこなわれ、現況よりGL-1mで石垣の入隅部を確認した。石垣は、東西方向に3石（野面石）・南北方向に3石（加工石材）あり、地山に据えられた根石と考えられる。絵図等の検討から、柳門東側に位置した番所北東部に築かれた石垣の一部と考えられる。そのほか、別館東側と別館北側では掘削によって安山岩の岩盤が検出された。今回の調査地点では、岩盤に矢穴痕等の痕跡はみられなかったが、周辺における掘削時には引き続き注意が必要である。



立会調査 位置図

4-15 国道20号外光ケーブル敷設工事に伴う立会調査  
(甲府城跡)

所在地 甲府市丸の内1丁目内

遺跡名 甲府城跡

調査期間 A・B: 2005年11月17日~27日、C: 12月15日~19日

調査面積 A: 13m<sup>2</sup>, B: 7m<sup>2</sup>, C: 18m<sup>2</sup>

担当者 宮里学・上原健弥

光ケーブル敷設工事に伴い、3ヶ所(A~C)で掘削がおこなわれた。A地点及びB地点は、稲荷槽北側の内堀付近にあたり大量の瓦などが出土することも予想された。A地点ではGL-0.6m、B地点はGL-1.1mまで掘削したが、既設の水道管等によって既に削平を受けており遺構や遺物の検出には至らなかった。C地点は、舞鶴陸橋の北側で歴史的には山手門北西部の内堀付近にあたる。最大でGL-1.1mまで掘削し遺構の検出には至らなかったが、歩道部分ではGL-1mで地山が確認された。



立会調査 位置図

4-16 国道20号観音橋拡幅工事事業に伴う立会調査(西表堤防)

所在地 蕨崎市水神一丁目先堤防敷

遺跡名 西表堤防

調査期間 2005年10月24日~25日

調査面積 200m<sup>2</sup>

担当者 山本茂樹・芦澤昌弘

工事の場所は、周知の埋蔵文化財包蔵地である西表堤防である。国土交通省と学術文化財課を交えた協議結果から、工事と並行した立会調査を実施することとなった。工事による掘削法面は急勾配であり、堤防の石垣と川側の間に人頭大の礫が堆積しており、安全面を考慮して写真撮影で対応した。

地山は粗い砂であり、洪水砂は極めの細かな砂で礫も伴っていた。平面確認では、残存する堤防の法面は堆積土及び礫を取り除いたところ、黒色土が薄く堆積しており、この層を取り除くと白色の砂と人頭大の石が並べられた堤防の本体が確認された。出土遺物は、堤防という性格上確認することはできなかった。

結果としては、平成13年に蕨崎市教育委員会による本発掘調査で確認された内容と変わらないものであったことから、工事の継続を指示した。

今後の西表堤防での工事は、発掘調査の未実施部分について蕨崎市教育委員会とその取り扱いについて協議する必要がある。



立会調査 位置図

4-17 釜無川流域下水道建設事業に伴う立会調査  
(赤山仲田遺跡)

所在地 南アルプス市野牛島地内

遺跡名 赤山仲田遺跡

調査期間 2006年3月16日

調査面積 39.6m<sup>2</sup>

担当者 山本茂樹

立会調査箇所は、南アルプス市野牛島地内の赤山より下流の地点である。この事業は、南アルプス市側から豊坑による掘削を行い、御勅使川を抉んだ韋崎市内に下水道を敷設するものである。

当初、土層の堆積は砂利層の下に砂層が、さらに下層には粘土層が、その下層には礫層が存在しているものと想定した。またこの粘土層は、周辺での発掘調査事例から中世の水田面と想定した。

初めに重機による掘削を9m×4.4m幅で現地表から深さ約80cmまで実施し、断面観察や平面確認を行ったところ現在の耕作土であった。そして、さらに約120cmまで掘削を行ったところ、現地表下約80cmから約200cmまでは礫層であり、近接している御勅使川による堆積層と考えられる。よって、周辺で発掘調査を実施した仲田遺跡では、地表下150cmに中世の水田跡が認められ、水田面がつくられた粘土層は数十センチの厚さがありその下層は礫層であったことから勘案すると、今回の工事箇所にはこの粘土層が存在せず、遺構の存在はないものと判断されるので、工事着手しても支障はないものと思われる。



立会調査 位置図

4-18 釜無川流域下水道建設事業に伴う立会調査

所在地 西八代郡市川三郷町下大鳥居地内

調査期間 2006年3月20日

調査面積 5m<sup>2</sup>

担当者 村石清澄

立会調査箇所は、周知の堤防遺跡推定地である。下水道建設は、堤防跡に向て屈曲する県道上の南北2箇所である。

南側部分の地山は、小礫混じりの粗砂質灰黃褐色シルトであった。北側部分の地山は小角礫混じりの暗青灰色粗砂であり、この上部では巨礫・大礫・中礫・小礫混じり黄褐色シルト質粘土の堆積層が認められた。これらの土層は西側に厚く、東側に薄く形成され、旧路面は東から西へ傾斜する地形を平坦化するようにつくられたものと推定される。巨礫も人為的に運ばれてきたものと判断した。

旧路面の上面は、現路面下約60~80cmで現路面には接しており、2箇所とも遺物は確認できなかったが、近代に属する可能性が高い。

立会調査を行った2箇所では、堤防跡に隣接するが堤防跡の部分とは確認できなかつたので工事の継続を指示した。

なお、今後の工事計画では、堤防部分を掘削の予定であるため、この部分の工事着手前に立会調査を実施するための協議が必要である。



立会調査 位置図

## 第Ⅲ章 県内の概況

### 1 届出件数と内容

平成17年度、県内の埋蔵文化財調査による届出件数については、法92条：1(0)件、法93条：699(583)件、法94条：119(80)件、法96条法2(1)件、法97条4(6)件、法99条225(180)件である。届出の総件数は1,050(850)件であり、前年度と比較すると、その件数は200件（1.24%）の増加となっている。（ ）内は前年度件数。

なお過去18年間の届出件数の変遷は、50頁の表のとおりで、本年度は著しい増加傾向が見られる。要因の一つとしては、市町村合併に伴い文化財担当職員が未設置であった町村もカバーされることとなり、周知の埋蔵文化財包蔵地における土木工事等の届出などの必要性が広く認識されてきたものと思われる。しかし、一方では市町村間における届出件数の格差が生じている状況も明らかとなった。

### 2 発掘調査

平成17年度に実施された県内の発掘調査件数は、50頁の表のとおりで、試掘調査を含めて225件となっており、年々増加している状況である。その内訳は、県が18件・市町村が207件となる。発掘調査の原因は、道路30件、学校2件、集合住宅14件、個人住宅71件、工場8件、店舗14件、個人住宅兼工場又は店舗1件、その他建物21件、宅地造成13件、土地区画整理2件、公園造成3件、ガス・電気・電話・水道7件、農業基盤14件、農業関係2件、その他開発12件といった緊急調査と、自然崩壊1件、学術調査6件、保存目的の範囲確認3件、遺跡整備1件があった。緊急調査では、道路など公共事業をはじめ、個人住宅やその他開発（携帯電話基地局、耐震性貯水槽設置など）に大幅な増加傾向が見られる。

### 3 県指定有形文化財（考古資料）及び県指定史跡

平成17年度では、県指定有形文化財の考古資料として5月2日に笛吹市の「古柳塚古墳出土品68点（武器類35点、馬具類6点、装身具類26点須恵器1点）」、同年12月26日に北杜市の「上北田遺跡出土品53点（土器類6点、石器類43点、土製品1点、石製品3点）」、南アルプス市の「大師東丹保遺跡網代1点（木製品1点）」を指定した。

古柳塚古墳の資料は、武具、馬具、装身具、上器からなる一括資料で、その年代はいずれも6世紀末から7世紀初頭の時期に収まるものである。周辺の古墳で部分的に確認されているものと共通性が多いが、馬具のうちの壺鏡や心葉形鏡板付骨、辻金具などを中心に、全般に高い水準の技巧が施されている点に、本古墳の位置付けを意義あるものとしている。また、本資料は正式な考古学的発掘によって出土したものではないが、出土後すぐに写真に記録されたため、その後の長期の所在不明時期があるといえども、高い考古学的資料価値が認められ、本県の古墳時代後期の地域豪族の在り方などを理解する上で、極めて貴重な資料である。

上北田遺跡の資料は、県内で数少ない縄文時代前期前葉の土器や、生産用具の貴重な一括資料など、縄文時代前期から中期への文化的発展の在り方、文化の流入経路やその広がりなどを研究する上で、極めて貴重な資料である。

大師東丹保遺跡の資料は、その用途を特定することは困難であり、垣根や壁以外にも使用された可能性を含めて検討していく必要があるが、中世の建築様式や技法を復元する上で、極めて重要な資料である。

### 4 発掘調査の成果と保存整備事業

平成17年度県内各地で行われた発掘調査（学術調査等含む）は、37カ所あり、主な調査成果は次のとおりである。北杜市梅之木遺跡では、市教育委員会により重要遺跡確認緊急調査が実施され、環状集落と共に縄文時代中期の生活空間（「縄文の道」「水辺の作業場」等）が立体的に分かることなく、類例のない遺構を確認し、高い学術的評価が認められた。南アルプス市百々・上八田遺跡では、縄文時代の海水魚の出土としては、県内初で最古の例となる縄文時代後期のタイの骨が確認され、海辺の地域との交流を探る上で貴重な資料である。甲斐市石原田遺

跡では、県内最古の縄文時代早期中葉のミニチュア土器が出土し、当時の風習やまつりを研究する上でも貴重な発見である。笛吹市大藏経寺前遺跡では、古墳時代中期の古墳の周溝から県内では初例となる鏡、剣、玉の3点セツトを模した多量の石製模造品が発見され、古墳の祭式を考えるための貴重な資料である。蘿崎市苗敷山頂遺跡では、山頂部の遺構分布等把握のための測量調査等により古代から中近世の遺物が発見され、各時代における信仰形態のあり方の変化などが明らかにされている。北杜市向山遺跡では、鎌倉時代から室町時代に営まれた礎石建物跡を作り中世の墓地が発見され、葬送儀礼や石造物の形態の変遷を追うことができ、当時の死生観を探る貴重な資料である。中央市小井川遺跡では、戦国時代の大型建物を始め、県内最古の延慶3（1310）年の年号が刻まれた五輪塔や「布施」の文字が刻まれた五輪塔など、これまで実体の不明であった中世「布施莊」に関する遺物が確認され、中世莊園制度の解明に貢献な成果が得られた。甲府市円楽寺奥の院では、行者堂跡や六角堂跡が確認され、富士山修験の拠点だったとされる中世寺院の実態解明にせまる多くの成果が得られた。甲府市甲府城下町遺跡では、甲府城の「二の堀」の一部が発見され、堀底までの調査により規模や構造の一端が明らかとなつた。南アルプス市ロタコ（御勅使河原飛行場跡）では、掩体壕跡の基礎の構築状況が把握されるとともに、底面にコンクリートの床を貼った半地下式の構造だったことが明らかになり、また滑走路跡では一層ごとに盛土をつき固めた痕跡なども見つかり、終戦間際に建設された旧日本軍の飛行場の姿が60年ぶりに明らかにされた。

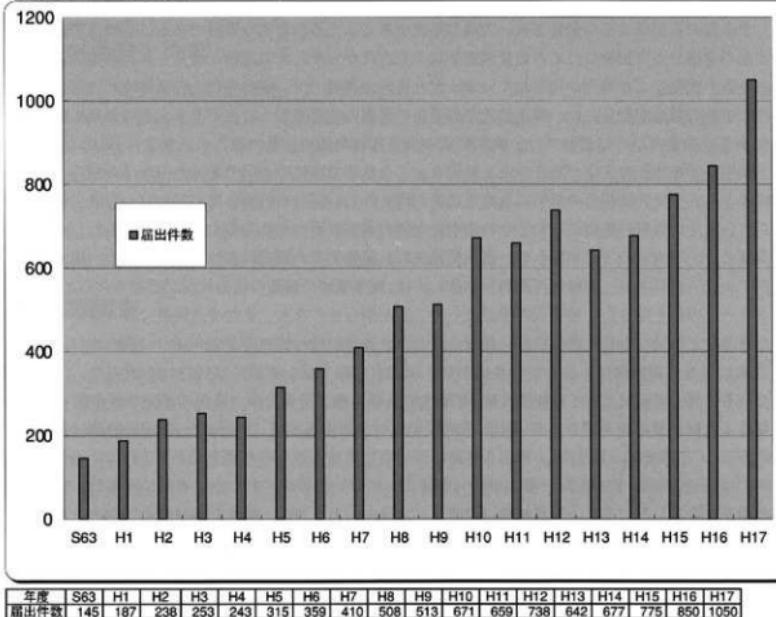
保存整備事業に係る発掘調査は、次のとおりである。国指定史跡では、本県には12件14か所あり、これらの貴重な史跡の保存と活用を図るために、指定地の公有地化や保存整備工事を進め、県民の歴史学習や憩いの場として親しまれるよう取り組みが進められている。平成17年度は、鏡子塚古墳（甲府市）、武田氏館跡（甲府市）、新府城跡（蘿崎市）、谷戸城跡（北杜市）、勝沼氏館跡（甲州市）で整備のための調査が実施されている。

県指定史跡では、連方屋敷（山梨市）、勝山城跡（都留市）において将来にわたって有効に保存し、整備活用を図るための調査に着手した。また、甲府城跡（甲府市）では、詰石を点検・補充し石材崩落の抑止を目的とする石垣維持管理工事などが実施された。このほか、甲府城山手御門の歴史公園整備や県指定に向けた山梨市金桜神社奥社地遺跡の調査が行われている。

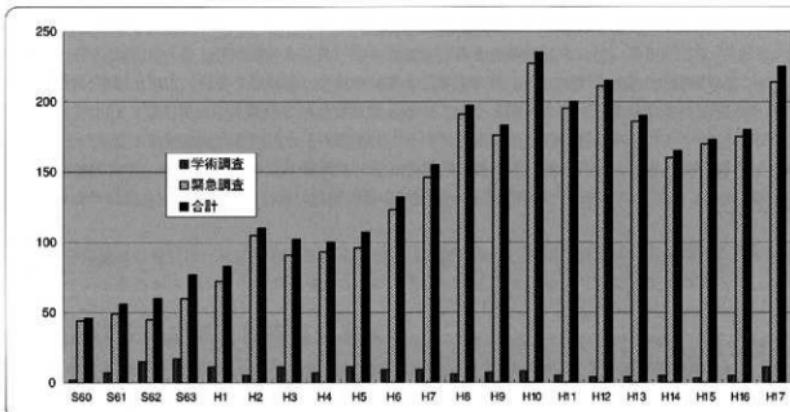
## 5 調査体制（H18年8月31日現在）

埋蔵文化財専門職員について、県では学術文化財課5名（うち文化財保護担当1名）、職員派遣（身延町）1名、埋蔵文化財センター24名（うち教員派遣交流3名、非常勤嘱託5名、臨時職員2名）、博物館3名、考古博物館5名（外に非常勤嘱託1名）、市町村では、甲府市6名、富士吉田市2名、甲州市2名、大月市2名、蘿崎市2名、南アルプス市3名、笛吹市5名（外に非常勤嘱託2名）、北杜市8名（外に非常勤嘱託1名）、山梨市2名、都留市、上野原市（外に非常勤嘱託1名）、甲斐市（外に非常勤嘱託1名）、中央市（昭和町を兼務）、市川三郷町、身延町（県職員の派遣）、忍野村（非常勤嘱託）に各1名となっている。埋蔵文化財専門職員の配置率は、28市町村のうち16市町村の57%となり、平成15年度の61%（64市町村のうち39市町村）と比べ4%減である。また、担当職員数も54名から10名減の44名（うち県職員派遣1名、嘱託等6名）の配置状況である。現在、埋蔵文化財行政をとりまく環境は大きく変化しつつあり、実情に見合った適切な専門職員配置はきわめて大きな課題である。

### 発掘届出等件数の推移図



### 発掘調査件数の推移



## 2005年度 塚内発掘調査一覧表

| No. | 調査名            | 所生地           | 面積(㎡)   | 調査の概要   | 調査の年代    | 調査日付    | 調査主・休者   | 調査実績                |
|-----|----------------|---------------|---------|---------|----------|---------|----------|---------------------|
| 1   | 根久野跡           | 甲府市御井2丁目65-10 | 162.58  | 東路跡     | 男女・平安    | 個人宅     | 甲府市防衛委員会 | H17.3.25 ~ H17.3.25 |
| 2   | 武田塚・町道跡        | 甲府市御井3丁目75-15 | 90.09   | 地下街     | 中世       | 個人宅     | 甲府市防衛委員会 | H17.3.25 ~ H17.3.25 |
| 3   | 六郷塚跡           | 甲府市御井4丁目65-2  | 50.80   | 牧草地     | 古墳・平安    | 個人宅     | 甲府市防衛委員会 | H17.3.29 ~ H17.3.29 |
| 4   | 利見塚跡           | 甲府市右へ町2丁目65-2 | 90.00   | 牧草地     | 古墳・平安・近世 | 個人宅     | 甲府市防衛委員会 | H17.3.28 ~ H17.3.30 |
| 5   | 利見塚・町道跡        | 甲府市御井4丁目65-2  | 165.15  | 地下街     | 中世       | 個人宅     | 甲府市防衛委員会 | H17.4.0 ~ H17.4.28  |
| 6   | 利見塚跡           | 甲府市御井4丁目65-3  | 77.42   | 林野地     | 古墳・平安    | 個人宅     | 甲府市防衛委員会 | H17.4.18 ~ H17.4.21 |
| 7   | 石塚跡            | 甲府市御井4丁目65-1  | 75.00   | 東路跡     | 張地       | 個人宅     | 甲府市防衛委員会 | H17.4.8 ~ H17.4.11  |
| 8   | 利久野跡           | 甲府市御井4丁目65-1  | 170.00  | 牧草地     | 中世       | 宅地      | 甲府市防衛委員会 | H17.3.19 ~ H17.4.22 |
| 9   | 利仲野跡           | 甲府市御井4丁目1-1   | 275.00  | 地下街     | 中世・近世    | 集合宅     | 甲府市防衛委員会 | H17.2.10 ~ H17.3.31 |
| 10  | 利坂塚跡           | 甲府市御井1丁目3-8   | 20.00   | 牧草地     | 平安       | 個人宅     | 甲府市防衛委員会 | H17.4.27 ~ H17.5.13 |
| 11  | 利坂塚跡           | 甲府市御井1丁目3-1   | 2.00    | 東路跡     | 古墳・平安    | 個人宅     | 甲府市防衛委員会 | H17.4.12 ~ H17.4.12 |
| 12  | 利合・利見野跡        | 甲府市御井1丁目3-1   | 112.50  | 田面地     | 平安       | 個人宅     | 甲府市防衛委員会 | H17.4.28 ~ H17.5.2  |
| 13  | 利尻塚跡           | 甲府市御井1-1      | 50.00   | 東路跡     | 古墳・中世    | 通路      | 甲府市防衛委員会 | H17.5.17 ~ H17.8.31 |
| 14  | 利の山跡           | 甲府市御井1-1      | 48.80   | 林野地     | 通路・全く・中世 | 個人宅     | 甲府市防衛委員会 | H17.4.26 ~ H17.5.16 |
| 15  | 利の山跡           | 甲府市御井1-1      | 23.50   | 牧草地     | 古墳・平安    | 個人宅     | 甲府市防衛委員会 | H17.4.26 ~ H17.5.6  |
| 16  | 利の山跡           | 甲府市御井1-1      | 3.60    | 牧草地     | 古墳・平安    | 個人宅     | 甲府市防衛委員会 | H17.5.23 ~ H17.5.23 |
| 17  | 利田塚・町道跡        | 甲府市御井1-1      | 60.00   | えり町     | 中世       | 個人宅     | 甲府市防衛委員会 | H17.5.24 ~ H17.6.7  |
| 18  | 利木原前川跡・サンゴワカガ茂 | 甲府市御井1-1      | 30.00   | 牧草地・石垣  | 平安       | 個人宅     | 甲府市防衛委員会 | H17.5.23 ~ H17.6.8  |
| 19  | 利原塚跡           | 甲府市御井1-1      | 45.00   | 林野地・日野地 | 通路・全く・中世 | 個人宅     | 甲府市防衛委員会 | H17.6.1 ~ H17.6.3   |
| 20  | 利原塚跡           | 甲府市御井1-1      | 1092.00 | 牧草地     | 古墳・平安・中世 | 個人宅     | 北公民防衛委員会 | H17.5.26 ~ H17.5.31 |
| 21  | 利原塚跡           | 甲府市御井1-1      | 700.00  | 牧草地     | 古墳・平安・中世 | 個人宅     | 北公民防衛委員会 | H17.6.7 ~ H17.6.26  |
| 22  | 利平塚跡           | 甲府市御井1-1      | 774.73  | 林野地     | 古墳・平安・中世 | 通路      | 北公民防衛委員会 | H17.5.19 ~ H17.5.31 |
| 23  | 利林塚跡           | 甲府市御井1-1      | 79.00   | 牧草地     | 古墳・平安    | 個人宅     | 北公民防衛委員会 | H17.6.16 ~ H17.6.26 |
| 24  | 利の山跡           | 甲府市御井1-1      | 40.00   | 林野地・日野地 | 古墳・平安・近世 | 個人宅     | 北公民防衛委員会 | H17.6.13 ~ H17.6.18 |
| 25  | 利山塚跡           | 甲府市御井1-1      | 1500.00 | その他の墓   | 中世       | 墓地整備委員会 | 北公民防衛委員会 | H17.4.26 ~ H17.6.30 |
| 26  | 利尾塚跡           | 甲府市御井1-1      | 90.00   | 林野地     | 古墳・会員    | 公園施設    | 甲府市防衛委員会 | H17.3.23 ~ H17.6.30 |
| 27  | 利原塚跡           | 甲府市御井1-1      | 120.00  | その他の墓   | 古墳       | 通路      | 山梨県防衛委員会 | H17.4.20 ~ H17.8.31 |
| 28  | 利記山跡           | 甲府市御井1-1      | 600.00  | その他の墓   | 古墳       | 通路      | 山梨県防衛委員会 | H17.4.25 ~ H17.8.31 |
| 29  | 利沢山跡           | 甲府市御井1-1      | 3000.00 | 牧草地     | 平安       | 個人宅     | 山梨県防衛委員会 | H17.5.16 ~ H17.9.16 |
| 30  | 利田塚跡           | 甲府市御井1-1      | 450.00  | 林野地     | 平安・中世    | 通路      | 山梨県防衛委員会 | H17.5.21 ~ H17.6.21 |
| 31  | 利曾根塚跡          | 甲府市御井1-1      | 500.00  | 牧草地     | 古墳・墓地    | 個人宅     | 山梨県防衛委員会 | H17.5.23 ~ H17.6.17 |
| 32  | 利見野跡           | 甲府市御井1-1      | 250.00  | 牧草地     | 古墳・平安    | 通路      | 山梨県防衛委員会 | H17.5.19 ~ H17.8.15 |
| 33  | 利井山・小川山跡       | 甲府市御井1-1      | 3000.00 | その他の墓   | 古墳・近現代   | 個人宅     | 山梨県防衛委員会 | H17.6.1 ~ H17.10.31 |
| 34  | 利井塚・町道跡        | 甲府市御井1-1      | 20.00   | 地下街     | 平安       | 個人宅     | 山梨県防衛委員会 | H17.6.24 ~ H17.6.24 |
| 35  | 利井塚跡           | 甲府市御井1-1      | 40.00   | 牧草地     | 古墳       | 個人宅     | 山梨県防衛委員会 | H17.6.20 ~ H17.6.22 |
| 36  | 利木原前川跡         | 甲府市御井1-1      | 150.00  | 牧草地     | 古墳・会員    | 個人宅     | 北公民防衛委員会 | H17.6.15 ~ H17.6.22 |
| 37  | 利木原前川跡         | 甲府市御井1-1      | 45.00   | 牧草地     | 古墳・平安    | 個人宅     | 北公民防衛委員会 | H17.6.22 ~ H17.6.22 |
| 38  | 大坪塚跡           | 甲府市御井1-1      | 614.47  | 林野地     | 平安       | 個人宅     | 北公民防衛委員会 | H17.6.21 ~ H17.6.24 |

| %  | 通<br>路<br>名 | 所<br>在<br>地             | 面積, m <sup>2</sup> | 施<br>設<br>の<br>種<br>類 | 道<br>路<br>の<br>形<br>代 | 調<br>査<br>片<br>面 | 國<br>事<br>工<br>作<br>委<br>員<br>會<br>北<br>洋<br>社<br>會<br>委<br>員<br>會 | H17.27<br>~ H17.30 |
|----|-------------|-------------------------|--------------------|-----------------------|-----------------------|------------------|--|--------------------|
| 39 | 下六村道路       | 北洋社市街地小字南字人門3212        | 23.10              | 住宅地                   | 丁字                    | その他の施設(会館)       | 北洋社市街地委員會  | H17.27<br>~ H17.30 |
| 40 | 新田道路        | 人門土入八町東字南字人門3212        | 2.10               | 集落地                   | 死角、歩道、一方通行            | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 41 | 平一原道路       | 北洋社市街地小字北門3210          | 20.00              | 住宅地                   | 橋                     | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 42 | 平一原道路       | 平門市街地小字北門3210           | 3.00               | 住宅地                   | 死角、一方通行               | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 43 | 甲子門下水道      | 平門市街地小字北門3210-1         | 40.00              | 下水道                   | 死角、一方通行               | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 44 | 上水道路        | 平門市街地小字北門3210-1         | 70.00              | 渠溝、排水路                | 死角、一方通行               | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 45 | 新田道路        | 北洋社市街地小字北門3210          | 40.00              | 住宅地                   | 死角、一方通行               | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 46 | 百人八町道路      | 北洋社市街地小字北門3210          | 10.00              | 住宅地                   | 死角、電気、電話、水道           | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 47 | 大谷山道路       | 北洋社市街地小字北門3210          | 150.00             | 住宅地                   | 死角、一方通行               | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 48 | 上水道路        | 北洋社市街地小字北門3210-1        | 1.80               | 排水管                   | 死角、一方通行               | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 49 | 本町道路        | 7-19号白木地主7-17号白木地主7-15号 | 20.00              | 住宅地                   | 死角、一方通行               | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 50 | 下水道路        | 新田市街地小字北門3210-2         | 4.00               | 排水沟                   | 死角、一方通行               | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 51 | 大谷山道路       | 北洋社市街地小字北門3210-2        | 10.00              | その他の施設(会館)            | 死角、一方通行               | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 52 | 大谷山道路       | 北洋社市街地小字北門3210-2        | 45.00              | 渠溝                    | 死角、一方通行               | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 53 | 西水道路        | 西水道内街地小字北門3210-2        | 14.425             | 排水沟                   | 死角、一方通行               | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 54 | 南水道路        | 北洋社市街地小字北門3210-2        | 3.00               | 排水沟                   | 死角、一方通行               | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 55 | 南水道路        | 北洋社市街地小字北門3210-2        | 14.00              | 排水沟                   | 死角、一方通行               | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 56 | 南水道路        | 年中川村515-1号5-22号         | 36.639             | 渠溝                    | 死角、一方通行               | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 57 | 南水道路        | 北洋社市街地小字北門3210-1        | 4.60               | 排水沟                   | 死角、電気、電話、水道           | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 58 | 海之一町道路      | 北洋社市街地小字北門3210-1        | 160.00             | 排水沟                   | 死角、一方通行               | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 59 | 海之一町道路      | 北洋社市街地小字北門3210-1        | 70.00              | 排水沟                   | 死角、一方通行               | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 60 | 海町道路        | 北洋社市街地小字北門3210-1        | 20.00              | 排水沟                   | 死角、一方通行               | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 61 | 新田道路        | 新田市街地小字北門3210-3         | 37.00              | 排水沟                   | 死角、一方通行               | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 62 | 水田道路        | 新田市街地小字北門3210-1         | 32.231             | 渠溝、下水道                | 死角、一方通行               | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 63 | 新田道路        | 新田市街地小字北門3210-1         | 1.00               | その他の施設(会館)            | 死角、一方通行               | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 64 | 甲子門下水道      | 甲子門下水道小字北門3210-1        | 40.00              | 下水道                   | 死角、一方通行               | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 65 | 金谷下水道       | 金谷下水道小字北門3210-1         | 5.00               | 排水沟                   | 死角、一方通行               | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 66 | 新田道路        | 新田市街地小字北門3210-1         | 4.00               | 排水沟                   | 死角、一方通行               | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 67 | 水田道路        | 新田市街地小字北門3210-1         | 20.00              | 古井                    | 死角、一方通行               | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 68 | 大谷山道路       | 7-19号白木地主7-17号白木地主7-2   | 252.19             | 山水路                   | 死角、一方通行               | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 69 | 7-19号白木地主   | 北洋社市街地小字北門3210-3        | 80.00              | 排水沟                   | 死角、一方通行               | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 70 | 南水道路        | 北洋社市街地小字北門3210-1        | 35.00              | 排水沟                   | 死角、一方通行               | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 71 | 西水道路        | 北洋社市街地小字北門3210-1        | 80.00              | 排水沟                   | 死角、一方通行               | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 72 | 4-1号道路      | 北洋社市街地小字北門3210-1        | 200.00             | 排水沟                   | 死角、一方通行               | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 73 | 金谷下水道       | 人門市街地小字北門3210-1         | 20.00              | 古井                    | 死角、一方通行               | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 74 | ロタコ         | 北洋社市街地小字北門3210-1        | 45.00              | その他の施設(会館)            | 死角、一方通行               | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 75 | 新田道路        | 新田市街地小字北門3210-1         | 76.40              | 渠溝、下水道                | 死角、一方通行               | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 76 | 金谷道路        | 金谷市街地小字北門3210-1         | 30.00              | 排水沟                   | 死角、一方通行               | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 77 | 新田道路        | 新田市街地小字北門3210-1         | 144.25             | 排水沟                   | 死角、一方通行               | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |
| 78 | 新田道路        | 新田市街地小字北門3210-1         | 46.00              | 排水沟                   | 死角、一方通行               | 北洋社市街地委員會        | H17.27<br>~ H17.30   |                    |

| No. | 地名       | 所 在 地                | 面積(ha) | 面積の範囲 | 面積の年代    | 面積の年齢       | 調査主体        | 調査範囲                 |
|-----|----------|----------------------|--------|-------|----------|-------------|-------------|----------------------|
| 79  | 江原森林     | ガルフア市下呂合村4-3番        | 6.00   | 1982年 | 永平・古墳・平安 | 工芸          | 南アシナガモ松林委員会 | H17.8.5 ~ H17.8.6    |
| 80  | 松ノ木森林    | ガルフア市、余字谷(第1068-1番)  | 53.59  | 集落地   | 昭和・平成    | 伐採          | 甲斐市松林委員会    | H17.7.22 ~ H17.8.12  |
| 81  | 江原森林     | ガルフア市、余字谷(第1068-1番)  | 63.90  | 松林地   | 昭和・平成    | 伐採          | 南アシナガモ松林委員会 | H17.7.30 ~ H17.8.9   |
| 82  | 猪田山森林    | 猪田山(大)、余字谷(第1068-1番) | 237.00 | 集落地   | 昭和・平安・少林 | 道路          | 甲斐市松林委員会    | H17.7.27 ~ H17.8.31  |
| 83  | 毎原原森林    | 丹波高瀬町大字毎原字原山(第1920番) | 32.70  | 松林地   | 昭和       | ガス・電気・電話・水道 | 甲斐市松林委員会    | H17.8.3 ~ H17.8.8    |
| 84  | 会川森林     | 会川(大)、余字谷(第1662-1番)  | 40.00  | 集落地   | 昭和・平安・少林 | 薪材・占出       | 若狭市松林委員会    | H17.8.10 ~ H17.8.12  |
| 85  | 越後原森林    | 越後原(大)、余字谷(第251-1番)  | 20.00  | 集落地   | 昭和・平安・中世 | 工芸          | 甲斐市松林委員会    | H17.8.15 ~ H17.8.16  |
| 86  | 越後原丁白森林  | 越後原(大)、丁白(第251-2番)   | 23.00  | 竹林地   | 昭和       | 伐採          | 甲斐市松林委員会    | H17.7.27 ~ H17.8.9   |
| 87  | 甲斐市立可憐森林 | 甲斐市立(大)、丁白(第107番)    | 45.00  | 松下同   | 昭和       | 伐採          | 甲斐市松林委員会    | H17.7.28 ~ H17.8.3   |
| 88  | 甲斐市立可憐森林 | 甲斐市立(大)、丁白(第121番)    | 40.00  | 地下河   | 昭和・公道    | 伐採          | 甲斐市松林委員会    | H17.7.28 ~ H17.7.29  |
| 89  | 高湯原森林    | 高湯原(大)、余字谷(第1962-1番) | 4.00   | 無林地   | 昭和       | 薪材・占出       | 甲斐市松林委員会    | H17.8.17 ~ H17.8.18  |
| 90  | 元月原森林    | 元月原(大)、余字谷(第1324番)   | 4.00   | 無林地   | 昭和       | 薪材・占出       | 甲斐市松林委員会    | H17.8.18 ~ H17.8.19  |
| 91  | 清音川原森林   | 清音川(大)、余字谷(第1324番)   | 47.60  | 松林地   | 昭和       | 伐採          | 甲斐市松林委員会    | H17.8.18 ~ H17.8.19  |
| 92  | 上小川森林    | 上小川(大)、余字谷(第1666番)   | 20.00  | 松林地   | 昭和       | 伐採          | 甲斐市松林委員会    | H17.8.18 ~ H17.8.19  |
| 93  | 高坂原森林    | 高坂原(大)、余字谷(第2525番)   | 100.00 | 松林地   | 昭和       | 伐採          | 甲斐市松林委員会    | H17.8.18 ~ H17.8.19  |
| 94  | 宵合山丘陵    | 宵合山(大)、余字谷(第1345番)   | 100.00 | 松林地   | 昭和       | 伐採          | 甲斐市松林委員会    | H17.7.31 ~ H17.8.3   |
| 95  | 中川原森林    | 中川原(大)、余字谷(第172番)    | 6.00   | 地下河   | 昭和・平安    | 薪材・占出       | 甲斐市松林委員会    | H17.4.25 ~ H17.4.26  |
| 96  | 武川原アリ森林  | 武川原(大)、余字谷(第1421-2番) | 4.00   | 地下河   | 昭和       | 伐採          | 甲斐市松林委員会    | H17.8.9 ~ H17.8.10   |
| 97  | 尼介原アリ森林  | 尼介原(大)、余字谷(第1001-1番) | 3.75   | 松下同   | 昭和       | 伐採          | 甲斐市松林委員会    | H17.8.28 ~ H17.8.29  |
| 98  | 武川原アリ森林  | 武川原(大)、余字谷(第1504番)   | 20.00  | 地下河   | 昭和       | 伐採          | 甲斐市松林委員会    | H17.8.25 ~ H17.8.26  |
| 99  | 黄坂原アリ森林  | 黄坂原(大)、余字谷(第1235番)   | 3.75   | 地下河   | 昭和       | 伐採          | 甲斐市松林委員会    | H17.8.29 ~ H17.8.30  |
| 100 | 今井谷森林    | 今井谷(大)、余字谷(第2319-1番) | 200.00 | 松林地   | 昭和       | 伐採          | 甲斐市松林委員会    | H17.6.5 ~ H17.6.6    |
| 101 | 後栗原森林    | 後栗原(大)、余字谷(第1510-1番) | 70.00  | 松林地   | 昭和       | 伐採          | 北杜市松林委員会    | H17.4.30 ~ H17.5.1   |
| 102 | 横谷原森林    | 横谷原(大)、余字谷(第1206-1番) | 95.00  | 松林地   | 昭和       | 伐採          | 北杜市松林委員会    | H17.9.1 ~ H17.9.2    |
| 103 | 東区森林     | 東区(大)、余字谷(第185-3番)   | 8.00   | 松林地   | 昭和       | 伐採          | 上野原市松林委員会   | H17.9.20 ~ H17.9.29  |
| 104 | 引矢原森林    | 引矢原(大)、余字谷(第1290-2番) | 4.50   | 松林地   | 昭和       | 伐採          | 甲斐市松林委員会    | H17.8.31 ~ H17.8.31  |
| 105 | 今井谷森林    | 今井谷(大)、余字谷(第178-1番)  | 35.30  | 松林地   | 昭和       | 伐採          | 北杜市松林委員会    | H17.8.13 ~ H17.8.22  |
| 106 | 猪谷原森林    | 猪谷原(大)、余字谷(第178-2番)  | 70.00  | 松林地   | 昭和       | 伐採          | 北杜市松林委員会    | H17.9.8 ~ H17.9.9    |
| 107 | 山原森林     | 山原(大)、余字谷(第1794-1番)  | 68.70  | 松林地   | 昭和       | 伐採          | 北杜市松林委員会    | H17.9.19 ~ H17.9.23  |
| 108 | 猪谷原森林    | 猪谷原(大)、余字谷(第1794-1番) | 99.20  | その他の山 | 昭和       | 伐採          | 北杜市松林委員会    | H17.9.26 ~ H17.10.7  |
| 109 | 猪谷原森林    | 猪谷原(大)、余字谷(第1086-1番) | 48.00  | 松林地   | 昭和       | 伐採          | 北杜市松林委員会    | H17.9.32 ~ H17.10.3  |
| 110 | 猪谷原森林    | 猪谷原(大)、余字谷(第1086-1番) | 18.00  | 松林地   | 昭和       | 伐採          | 北杜市松林委員会    | H17.9.12 ~ H17.9.13  |
| 111 | 猪谷原森林    | 猪谷原(大)、余字谷(第1122-1番) | 32.00  | 松林地   | 昭和       | 伐採          | 北杜市松林委員会    | H17.9.26 ~ H17.9.28  |
| 112 | 上野原アリ森林  | 上野原(大)、余字谷(第2325-1番) | 65.00  | 松林地   | 昭和       | 伐採          | 甲斐市松林委員会    | H17.5.21             |
| 113 | 下原森林     | 下原(大)、余字谷(第301-1番)   | 60.00  | 松林地   | 昭和       | 伐採          | 北杜市松林委員会    | H17.9.26 ~ H17.9.28  |
| 114 | 猪谷原森林    | 猪谷原(大)、余字谷(第1086-1番) | 3.10   | 松林地   | 昭和       | 伐採          | 南アルプス市松林委員会 | H17.10.4             |
| 115 | 猪谷原森林    | 猪谷原(大)、余字谷(第1086-1番) | 10.00  | 松林地   | 昭和       | 伐採          | 南アルプス市松林委員会 | H17.9.26 ~ H17.10.7  |
| 116 | 日ノヶ森森林   | 日ノヶ森(大)、余字谷(第353-1番) | 100.00 | 地下河   | 昭和       | 伐採          | 北杜市松林委員会    | H17.9.21 ~ H17.9.29  |
| 117 | 猪谷原森林    | 猪谷原(大)、余字谷(第1086-1番) | 12.00  | 松林地   | 昭和       | 伐採          | 芦川村松林委員会    | H17.8.16             |
| 118 | 笠山森林     | 笠山(大)、余字谷(第1086-1番)  | 120.00 | 集落地   | 昭和       | 伐採          | 北杜市松林委員会    | H17.10.3 ~ H17.10.12 |

| %   | 地名      | 所 在 地              | 面 積    | 面積(m <sup>2</sup> ) | 施設の種別 | 施設の年代 | 使 用 目 的 | 運 送 手 交 通             |
|-----|---------|--------------------|--------|---------------------|-------|-------|---------|-----------------------|
| 119 | 豊丘二丁目道路 | 甲府市豊丘2丁目363-1      | 4.00   | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 平成市街会員会 | H17.1.0.4 ~ H17.10.14 |
| 120 | 中央通り    | 中央通り(昭和62年)1-1     | 2.00   | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.9.34 ~ H17.9.45   |
| 121 | 中央通り    | 中央通り(昭和62年)1-25-5  | 16.00  | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.10.6 ~ H17.10.7   |
| 122 | 中央通り    | 中央通り(昭和62年)1-25-1  | 16.00  | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.9.12 ~ H17.9.32   |
| 123 | 中央通り    | 中央通り(昭和62年)1-25-2  | 16.00  | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.9.3 ~ H17.9.6     |
| 124 | 上二木谷地   | 中央通り(昭和62年)1-25-3  | 16.00  | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.9.15 ~ H17.9.16   |
| 125 | 新富町     | 中央通り(昭和62年)1-25-4  | 10.00  | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.10.13 ~ H17.10.18 |
| 126 | 中央通り    | 中央通り(昭和62年)1-25-5  | 2.00   | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.10.17 ~ H17.10.17 |
| 127 | 新富町     | 中央通り(昭和62年)1-25-6  | 70.00  | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.10.12 ~ H17.10.14 |
| 128 | 中央通り    | 中央通り(昭和62年)1-25-7  | 2.00   | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.9.21 ~ H17.9.21   |
| 129 | 新田町     | 中央通り(昭和62年)1-25-8  | 30.00  | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.10.12 ~ H17.10.18 |
| 130 | 新田町     | 中央通り(昭和62年)1-25-9  | 30.00  | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.10.14 ~ H17.10.21 |
| 131 | 相模原市議会  | 中央通り(昭和62年)1-25-10 | 60.00  | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.10.8 ~ H17.10.8   |
| 132 | 中央通り    | 中央通り(昭和62年)1-25-11 | 10.00  | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.10.20 ~ H17.10.20 |
| 133 | 中央通り    | 中央通り(昭和62年)1-25-12 | 196.00 | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.10.17 ~ H17.10.17 |
| 134 | 新田町     | 中央通り(昭和62年)1-25-13 | 2.00   | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.9.3 ~ H17.9.3     |
| 135 | 新田町     | 中央通り(昭和62年)1-25-14 | 10.00  | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.10.19 ~ H17.10.19 |
| 136 | 中央通り    | 中央通り(昭和62年)1-25-15 | 40.00  | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.11.6 ~ H18.1.27   |
| 137 | 新田町     | 中央通り(昭和62年)1-25-16 | 16.00  | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.10.31 ~ H17.11.8  |
| 138 | 新田町     | 中央通り(昭和62年)1-25-17 | 11.25  | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.11.9 ~ H17.11.16  |
| 139 | 新田町     | 中央通り(昭和62年)1-25-18 | 70.00  | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.11.8 ~ H17.11.10  |
| 140 | 中央通り    | 中央通り(昭和62年)1-25-19 | 200.00 | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.10.25 ~ H17.10.25 |
| 141 | 新田町     | 中央通り(昭和62年)1-25-20 | 45.00  | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.11.8 ~ H17.12.6   |
| 142 | 新田町     | 中央通り(昭和62年)1-25-21 | 20.00  | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.10.13 ~ H17.10.14 |
| 143 | 新田町     | 中央通り(昭和62年)1-25-22 | 20.00  | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.11.18 ~ H17.12.16 |
| 144 | 新田町     | 中央通り(昭和62年)1-25-23 | 50.00  | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.11.8 ~ H17.12.16  |
| 145 | 新田町     | 中央通り(昭和62年)1-25-24 | 2.55   | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.11.8 ~ H17.11.8   |
| 146 | 新田町     | 中央通り(昭和62年)1-25-25 | 1.00   | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.10.25 ~ H17.10.25 |
| 147 | 新田町     | 中央通り(昭和62年)1-25-26 | 1.00   | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.11.8 ~ H17.11.8   |
| 148 | 新田町     | 中央通り(昭和62年)1-25-27 | 1.00   | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.11.5 ~ H17.11.5   |
| 149 | 新田町     | 中央通り(昭和62年)1-25-28 | 1.00   | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.11.14 ~ H17.11.20 |
| 150 | 新田町     | 中央通り(昭和62年)1-25-29 | 2.00   | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.11.18 ~ H17.11.22 |
| 151 | 新田町     | 中央通り(昭和62年)1-25-30 | 200.00 | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.11.17 ~ H17.12.31 |
| 152 | 中央通り    | 中央通り(昭和62年)1-25-31 | 10.00  | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.10.28 ~ H17.11.10 |
| 153 | 中央通り    | 中央通り(昭和62年)1-25-32 | 11.00  | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.11.11 ~ H17.11.15 |
| 154 | 中央通り    | 中央通り(昭和62年)1-25-33 | 150.00 | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.10.26 ~ H17.10.26 |
| 155 | 中央通り    | 中央通り(昭和62年)1-25-34 | 1.00   | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.11.21 ~ H17.11.22 |
| 156 | 新田町     | 中央通り(昭和62年)1-25-35 | 2.00   | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.11.24 ~ H17.11.25 |
| 157 | 新田町     | 中央通り(昭和62年)1-25-36 | 65.00  | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.11.30 ~ H17.11.30 |
| 158 | 中央通り    | 中央通り(昭和62年)1-25-37 | 4.00   | 敷地面積                | 住居・店舗 | 昭和    | 相模原市議会  | H17.11.29 ~ H17.11.30 |

| 地名                | 通称                                      | 所在町     | 面積(ha) | 道路の開通      | 施設の開通  | 開通年代            | 開通年月日                  | 開通主体        |
|-------------------|---|---------|--------|------------|--------|-----------------|------------------------|-------------|
| 159 万福寺・4合畠       | 今ヶ原市街地2235                              | 今ヶ原市街地  | 150.00 | その他の道路・駅跡地 | 瓦窯跡    | その他施設(洋瓦窯跡、温泉街) | 平成17.11.7 ~ H17.12.4   | ホタルスカラ会員会議会 |
| 160 桜・無量寿         | 東側西大寺、東3861-1林                          | 東側西大寺   | 146.00 | 東側路        | 櫻文、平安  | 杉谷山会            | 平成17.11.11 ~ H17.12.9  | チヤウスカラ会員会   |
| 161 大正・上八田通路      | 西側西大寺市街地1287-1                          | 西側西大寺   | 4.00   | 東側路        | 大正、少林  | 西側市街地           | 平成17.11.15 ~ H17.11.15 | ホタルスカラ会員会   |
| 162 上竹原通路         | 新所内通路                                   | 新所内     | 150.00 | 東側路        | 新所内市街地 | 新所内市街地          | 平成17.11.14 ~ H17.11.14 | 新所内市街地      |
| 163 天正・天王寺通路      | 天王寺市街地91-1(1886-6年)、天王寺市街地91-1(1886-6年) | 天王寺     | 8.00   | 地下下町       | 天正     | 御井山会            | 平成17.12.5 ~ H17.12.6   | ホタルスカラ会員会   |
| 164 玄海通路          | 山陽新幹線会員会180                             | 新幹線     | 200.00 | 新幹線        | 玄海     | 山陽新幹線会員会        | 平成17.12.11 ~ H18.3.31  | ホタルスカラ会員会   |
| 165 今々・六田通路       | 西側西大寺市街地1597                            | 西側西大寺   | 6.00   | 新幹線        | 今々、平安  | 新幹線             | 平成17.12.16 ~ H17.12.16 | ホタルスカラ会員会   |
| 166 幸作・城下町通路      | 西側西大寺市街地1597                            | 西側西大寺   | 19.00  | 幸作         | 城下町    | 幸作市街地           | 平成17.12.6 ~ H17.12.6   | ホタルスカラ会員会   |
| 167 今井・牛久保3番地     | 西側西大寺市街地1596-1                          | 西側西大寺   | 20.00  | 牛久保        | 今井、平安  | 牛久保市街地          | 平成17.12.12 ~ H17.12.12 | ホタルスカラ会員会   |
| 168 甲・平野通路        | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会9494-1                   | 北社六丁目駅前 | 153.00 | 新幹線        | 甲、平野   | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会 | 平成17.12.22 ~ H17.12.22 | ホタルスカラ会員会   |
| 169 五条・本郷通路       | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会9494-1                   | 北社六丁目駅前 | 133.00 | 新幹線        | 五条     | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会 | 平成17.12.25 ~ H17.12.25 | ホタルスカラ会員会   |
| 170 丹波根原通路        | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会9494-1                   | 北社六丁目駅前 | 70.00  | 新幹線        | 丹波根原   | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会 | 平成17.12.30 ~ H17.12.30 | ホタルスカラ会員会   |
| 171 今々・一六田通路      | 西側西大寺市街地1595-3番外                        | 西側西大寺   | 49.50  | 新幹線        | 今々     | 新幹線             | 平成17.12.7 ~ H17.12.7   | ホタルスカラ会員会   |
| 172 鶴鳴山下通路        | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会9494-5                   | 北社六丁目駅前 | 25.00  | その他の路      | 平井、中野  | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会 | 平成17.12.9 ~ H17.12.9   | ホタルスカラ会員会   |
| 173 今井・本郷・新井・六代通路 | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会9494-5                   | 北社六丁目駅前 | 16.00  | 新幹線        | 今井、新井  | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会 | 平成17.12.12 ~ H17.12.26 | ホタルスカラ会員会   |
| 174 今本通路          | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会9494-4                   | 北社六丁目駅前 | 10.00  | 新幹線        | 今本     | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会 | 平成17.12.13 ~ H17.12.17 | ホタルスカラ会員会   |
| 175 木見・本郷通路       | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会9494-2                   | 北社六丁目駅前 | 12.00  | 新幹線        | 木見、本郷  | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会 | 平成17.12.12 ~ H17.12.12 | ホタルスカラ会員会   |
| 176 木見・本郷         | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会9494-2                   | 北社六丁目駅前 | 12.00  | 新幹線        | 木見、本郷  | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会 | 平成17.12.12 ~ H17.12.12 | ホタルスカラ会員会   |
| 177 佐野通路          | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会9494-2                   | 北社六丁目駅前 | 5.00   | 新幹線        | 佐野     | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会 | 平成17.12.12 ~ H17.12.12 | ホタルスカラ会員会   |
| 178 今久・本郷通路       | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会9494-2                   | 北社六丁目駅前 | 55.00  | 新幹線        | 今久     | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会 | 平成17.12.9 ~ H17.12.9   | ホタルスカラ会員会   |
| 179 今久・本郷通路       | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会9494-1以外                 | 北社六丁目駅前 | 15.00  | 新幹線        | 今久     | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会 | 平成17.12.9 ~ H17.12.9   | ホタルスカラ会員会   |
| 180 長坂通路          | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会9494-1                   | 北社六丁目駅前 | 60.00  | 新幹線        | 長坂     | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会 | 平成17.6.23 ~ H17.6.30   | ホタルスカラ会員会   |
| 181 伊藤・本郷通路       | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会9494-2                   | 北社六丁目駅前 | 21.00  | 新幹線        | 伊藤     | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会 | 平成18.1.4 ~ H18.1.4     | ホタルスカラ会員会   |
| 182 佐野通路          | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会9494-2                   | 北社六丁目駅前 | 60.00  | 新幹線        | 佐野     | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会 | 平成17.12.26 ~ H17.12.26 | ホタルスカラ会員会   |
| 183 朝所・本郷         | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会9494-2                   | 北社六丁目駅前 | 70.00  | 新幹線        | 朝所     | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会 | 平成18.1.5 ~ H18.1.5     | ホタルスカラ会員会   |
| 184 上原通路          | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会9494-2                   | 北社六丁目駅前 | 50.00  | 新幹線        | 上原     | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会 | 平成18.1.5 ~ H18.1.5     | ホタルスカラ会員会   |
| 185 本郷通路          | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会9494-1                   | 北社六丁目駅前 | 9.00   | 新幹線        | 本郷     | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会 | 平成18.1.11 ~ H18.1.20   | ホタルスカラ会員会   |
| 186 本郷通路          | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会9494-2                   | 北社六丁目駅前 | 20.00  | 新幹線        | 本郷     | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会 | 平成18.1.10 ~ H18.1.11   | ホタルスカラ会員会   |
| 187 本郷通路          | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会9494-2                   | 北社六丁目駅前 | 10.00  | 新幹線        | 本郷     | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会 | 平成17.12.26 ~ H18.1.10  | ホタルスカラ会員会   |
| 188 本郷通路          | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会9494-2                   | 北社六丁目駅前 | 90.00  | 新幹線        | 本郷     | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会 | 平成18.1.16 ~ H18.1.20   | ホタルスカラ会員会   |
| 189 本郷通路          | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会9494-2                   | 北社六丁目駅前 | 35.00  | 新幹線        | 本郷     | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会 | 平成17.11.1 ~ H17.11.15  | ホタルスカラ会員会   |
| 190 本郷通路          | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会9494-2                   | 北社六丁目駅前 | 12.00  | 新幹線        | 本郷     | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会 | 平成18.1.10 ~ H18.1.13   | ホタルスカラ会員会   |
| 191 本郷通路          | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会9494-2                   | 北社六丁目駅前 | 15.00  | 新幹線        | 本郷     | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会 | 平成18.1.23 ~ H18.1.24   | ホタルスカラ会員会   |
| 192 本郷通路          | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会9494-2                   | 北社六丁目駅前 | 6.00   | 新幹線        | 本郷     | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会 | 平成17.11.28 ~ H17.11.29 | ホタルスカラ会員会   |
| 193 本郷通路          | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会9494-2                   | 北社六丁目駅前 | 4.00   | 新幹線        | 本郷     | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会 | 平成18.1.10 ~ H18.1.13   | ホタルスカラ会員会   |
| 194 本郷通路          | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会9494-2                   | 北社六丁目駅前 | 65.00  | 新幹線        | 本郷     | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会 | 平成18.1.23 ~ H18.2.3    | ホタルスカラ会員会   |
| 195 本郷通路          | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会9494-2                   | 北社六丁目駅前 | 69.00  | 新幹線        | 本郷     | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会 | 平成18.1.19 ~ H18.1.19   | ホタルスカラ会員会   |
| 196 本郷通路          | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会9494-2                   | 北社六丁目駅前 | 35.00  | 新幹線        | 本郷     | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会 | 平成18.1.10 ~ H18.2.17   | ホタルスカラ会員会   |
| 197 本郷通路          | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会9494-2                   | 北社六丁目駅前 | 98.00  | 新幹線        | 本郷     | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会 | 平成18.1.25 ~ H18.3.31   | ホタルスカラ会員会   |
| 198 本郷通路          | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会9494-2                   | 北社六丁目駅前 | 15.00  | 新幹線        | 本郷     | 北社六丁目駅前歩道新幹線会員会 | 平成18.1.20 ~ H18.3.1    | ホタルスカラ会員会   |

| No. | 通<br>称<br>名 | 所<br>在<br>地                  | 面<br>積<br>(a <sup>2</sup> ) | 地<br>形<br>類<br>別 | 造<br>形<br>の<br>特<br>徴 | 造<br>形<br>の<br>年<br>代 | 調<br>査<br>片<br>的 | 調<br>査<br>半<br>年<br>的 | 調<br>査<br>半<br>年<br>的 |
|-----|-------------|------------------------------|-----------------------------|------------------|-----------------------|-----------------------|------------------|-----------------------|-----------------------|
| 199 | 私・下・屋／内牆    | 須次町八川字字原ノ下1887-195           | 10.00                       | 高台地              | 高台・竹林～石垣              | 近世                    |                  |                       |                       |
| 200 | 私宅裏         | 須次町字原ノ下443-134               | 150.00                      | その他の地盤(各種)       | 台地・西風                 | 二工                    |                  |                       |                       |
| 201 | 平屋地         | 上井山野町ノ下954-694               | 80.00                       | 低台地              | 溝                     | 近世                    |                  |                       |                       |
| 202 | 少子化地盤       | 須次町字原ノ下275-297-2             | 100.00                      | 低台地              | 傾斜・低洼                 | 近世                    |                  |                       |                       |
| 203 | 須田新居        | 甲府市若狭2丁目203-1                | 3.00                        | 低台地              | 低洼～半浸                 | 半浸                    |                  |                       |                       |
| 204 | 櫛木地盤        | 須次町字原ノ下275-297               | 80.00                       | 低台地              | 高台・竹林～半浸              | 高台・竹林～半浸              |                  |                       |                       |
| 205 | 社・人・田園地     | 須アシカガサウハ田原664-3              | 6.00                        | 低台地              | 傾斜・半浸                 | 傾斜・半浸                 |                  |                       |                       |
| 206 | 高台地盤        | 須次町字原ノ下520-1                 | 70.00                       | 高台地              | 中台                    | 高台地盤                  |                  |                       |                       |
| 207 | 沢の側地盤       | 北山町字原ノ下275-297-1             | 10.00                       | 低台地              | 傾斜・半浸                 | 傾斜・半浸                 |                  |                       |                       |
| 208 | 高水地盤        | 甲府市若狭1丁目40-6                 | 5.00                        | 高台地              | 傾斜・半浸                 | 傾斜・半浸                 |                  |                       |                       |
| 209 | 邊境地盤        | 牛野谷本宿原ノ下275-297-1            | 20.00                       | 低台地              | 傾斜・半浸                 | 傾斜・半浸                 |                  |                       |                       |
| 210 | 田園地盤        | 須次町字原ノ下275-297               | 20.00                       | 低台地              | 傾斜・半浸                 | 傾斜・半浸                 |                  |                       |                       |
| 211 | 上井地盤        | 須次町字原ノ下520-1                 | 80.00                       | 低台地              | 傾斜                    | 傾斜                    |                  |                       |                       |
| 212 | 金糞丘付近地盤     | 山野町正五丁目10号117                | 85.00                       | 台地               | 傾斜・半浸～近水              | 傾斜                    |                  |                       |                       |
| 213 | 阿・井地盤       | [1] 井伊町大字井伊2380-105          | 10.00                       | 低台地              | 傾斜                    | 傾斜                    |                  |                       |                       |
| 214 | 須次地盤        | 須次町字原ノ下275-297-1             | 100.00                      | 低台地              | 傾斜・半浸～半浸              | 傾斜                    |                  |                       |                       |
| 215 | 多摩川冲地盤      | 金比羅町上井ノ下275-297-1            | 20.00                       | 低台地              | 傾斜                    | 傾斜                    |                  |                       |                       |
| 216 | 武藏川下流地      | 須次町字原ノ下275-297-3             | 6.00                        | 低台地              | 中台                    | 中台                    |                  |                       |                       |
| 217 | 西山地盤        | [1] 西山町字原ノ下275-297-5-9-10    | 40.00                       | 低台地              | 溝                     | 近世                    |                  |                       |                       |
| 218 | 少子化地盤       | 乙女町字原ノ下275-297-1             | 40.00                       | 低台地              | 古墳・半浸                 | 古墳                    |                  |                       |                       |
| 219 | 根岸地盤        | 根岸市根岸町ノ下275-297-1-15         | 100.00                      | 高台地              | 傾斜                    | 傾斜                    |                  |                       |                       |
| 220 | 少子化地盤       | 根岸市根岸町ノ下275-297-3            | 1.00                        | 低台地              | 古墳・半浸                 | 古墳                    |                  |                       |                       |
| 221 | 須・須地盤       | 根岸市根岸町ノ下275-297-5-9-10-11-12 | 240.00                      | 高台地              | 溝                     | 近世・平安                 |                  |                       |                       |
| 222 | 与野地盤        | 白石町字原ノ下275-297-5-9-10-11-12  | 250.00                      | 低台地              | 傾斜                    | 傾斜                    |                  |                       |                       |
| 223 | 鶴見川下流地      | 牛野町字原ノ下275-297-5-9-10-11-12  | 20.00                       | 低台地              | 中台                    | 中台                    |                  |                       |                       |
| 224 | 少子化地盤       | 須アシカガサウハ田原664-3              | 2.50                        | 低台地              | 半浸                    | 半浸                    |                  |                       |                       |
| 225 | 中田新居        | 須アシカガサウハ田原119-1              | 1.00                        | 低台地              | 古墳・平安・中台              | 古墳                    |                  |                       |                       |



## 年報 22

印刷日 平成 18 年 11 月 10 日

発行日 平成 18 年 11 月 15 日

発行所 山梨県埋蔵文化財センター

山梨県甲府市下曾根町923

TEL 055-266-3881・055-266-3016

FAX 055-266-3882

E-mail : maizou-bnk@pref.yamanashi.lg.jp

印刷所 株式会社 少国民社

山梨県甲府市丸の内2-7-27

TEL 055-226-2125

